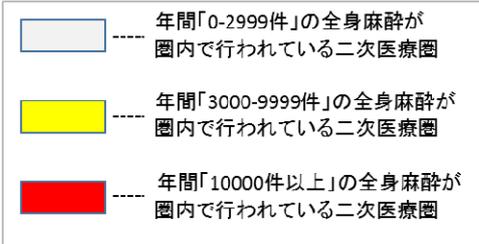
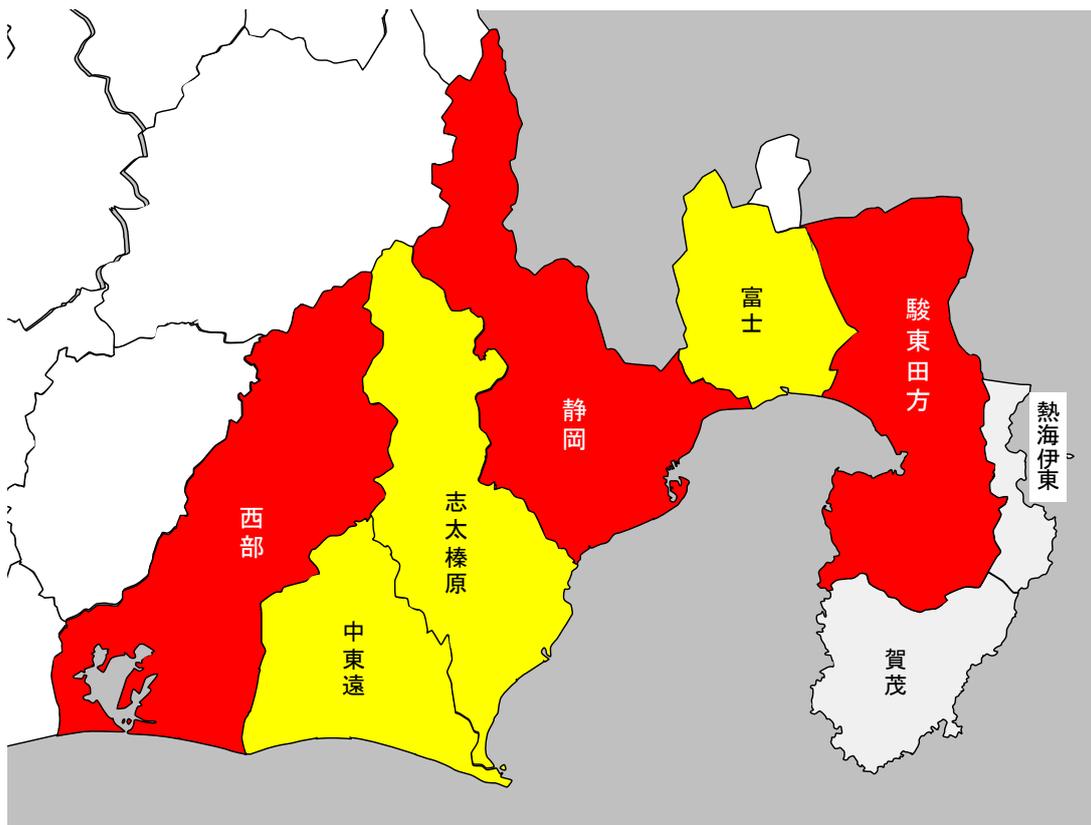


22. 静岡県



目次

静岡県	22	-	3
1. 賀茂医療圏	22	-	9
2. 熱海伊東医療圏	22	-	15
3. 駿東田方医療圏	22	-	21
4. 富士医療圏	22	-	27
5. 静岡医療圏	22	-	33
6. 志太榛原医療圏	22	-	39
7. 中東遠医療圏	22	-	45
8. 西部医療圏	22	-	51

静岡県

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は37,384人(-1%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1,716人(30%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は200人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は31%増え、その伸び率は全国平均(31%)と同程度である。

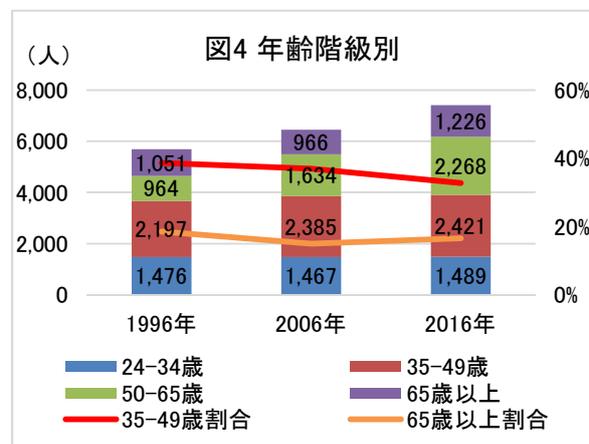
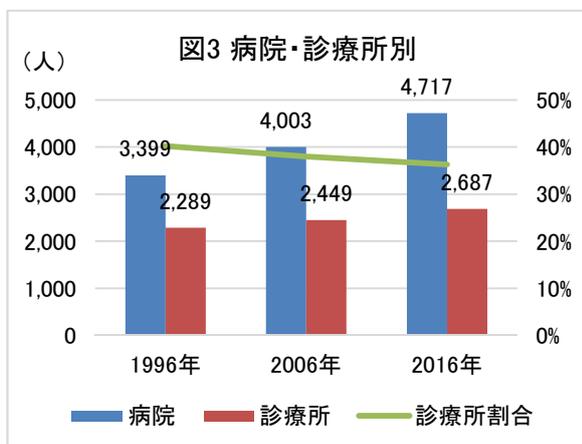
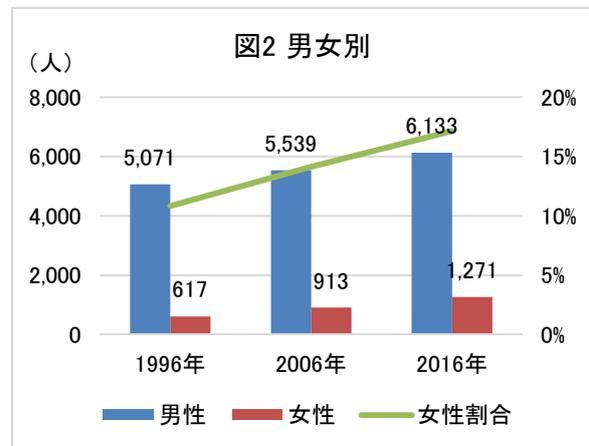
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて1,062人(21%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に654人(106%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1,318人(39%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に398人(17%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は36%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は224人(10%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて175人(17%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年17%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

静岡県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	3,737,689	3,792,377	3,700,305	-37,384	-1%	54,688	1%	-92,072	-2%	
総医師数	5,855	6,727	7,662	1,807	31%	872	15%	935	14%	
人口10万対	156.6	177.4	207.1	50.4	32%	20.7	13%	29.7	17%	
医療施設勤務医師数	5,688	6,452	7,404	1,716	30%	764	13%	952	15%	
人口10万対	152.2	170.1	200.1	47.9	31%	18.0	12%	30.0	18%	
男性医師数	5,071	5,539	6,133	1,062	21%	468	9%	594	11%	
人口10万対	135.7	146.1	165.7	30.1	22%	10.4	8%	19.7	13%	
女性医師数	617	913	1,271	654	106%	296	48%	358	39%	
人口10万対	16.5	24.1	34.3	17.8	108%	7.6	46%	10.3	43%	
病院勤務医師数	3,399	4,003	4,717	1,318	39%	604	18%	714	18%	
人口10万対	90.9	105.6	127.5	36.5	40%	14.6	16%	21.9	21%	
診療所勤務医師数	2,289	2,449	2,687	398	17%	160	7%	238	10%	
人口10万対	61.2	64.6	72.6	11.4	19%	3.3	5%	8.0	12%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.3	48.0	49.7	2.4	5%	0.7	1%	1.7	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1,476	1,467	1,489	13	1%	-9	-1%	22	1%
	35-49歳	2,197	2,385	2,421	224	10%	188	9%	36	2%
	50-64歳	964	1,634	2,268	1,304	135%	670	70%	634	39%
	65歳以上	1,051	966	1,226	175	17%	-85	-8%	260	27%
	75歳以上(再掲)	313	448	414	101	32%	135	43%	-34	-8%
男性	24-34歳	1,222	1,085	1,105	-117	-10%	-137	-11%	20	2%
	35-49歳	2,001	2,056	1,883	-118	-6%	55	3%	-173	-8%
	50-64歳	908	1,504	1,989	1,081	119%	596	66%	485	32%
	65歳以上	940	894	1,156	216	23%	-46	-5%	262	29%
	75歳以上(再掲)	271	404	387	116	43%	133	49%	-17	-4%
女性	24-34歳	254	382	384	130	51%	128	50%	2	1%
	35-49歳	196	329	538	342	174%	133	68%	209	64%
	50-64歳	56	130	279	223	398%	74	132%	149	115%
	65歳以上	111	72	70	-41	-37%	-39	-35%	-2	-3%
	75歳以上(再掲)	42	44	27	-15	-36%	2	5%	-17	-39%
病院	24-34歳	1,414	1,420	1,462	48	3%	6	0%	42	3%
	35-49歳	1,460	1,685	1,832	372	25%	225	15%	147	9%
	50-64歳	334	684	1,073	739	221%	350	105%	389	57%
	65歳以上	191	214	350	159	83%	23	12%	136	64%
	75歳以上(再掲)	39	66	98	59	151%	27	69%	32	48%
診療所	24-34歳	62	47	27	-35	-56%	-15	-24%	-20	-43%
	35-49歳	737	700	589	-148	-20%	-37	-5%	-111	-16%
	50-64歳	630	950	1,195	565	90%	320	51%	245	26%
	65歳以上	860	752	876	16	2%	-108	-13%	124	16%
	75歳以上(再掲)	274	382	316	42	15%	108	39%	-66	-17%
	85歳以上(再掲)	45	54	91	46	102%	9	20%	37	69%

静岡県

＜医師数の推移＞

静岡県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、精神科、放射線科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	5,688	152.2	46	6,452	170.1	46	7,404	200.1	46	1,716	30%	47.9	31%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	2,218	59.3	45	2,341	61.7	44	2,586	69.9	44	368	17%	10.5	18%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	389	10.4	49	414	10.9	49	405	10.9	46	16	4%	0.5	5%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	205	5.5	44	253	6.7	43	342	9.2	44	137	67%	3.8	69%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	650	17.4	46	604	15.9	47	637	17.2	48	-13	-2%	-0.2	-1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	6	0.2	46	15	0.4	48	16	0.4	47	10	167%	0.3	169%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	51	1.4	48	61	1.6	48	89	2.4	50	38	75%	1.0	76%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	198	5.3	53	183	4.8	50	202	5.5	49	4	2%	0.2	3%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	448	12.0	48	468	12.3	45	542	14.6	46	94	21%	2.7	22%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	38	1.0	50	47	1.2	48	71	1.9	49	33	87%	0.9	89%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	153	4.1	46	177	4.7	45	207	5.6	46	54	35%	1.5	37%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	288	7.7	48	298	7.9	46	311	8.4	45	23	8%	0.7	9%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	226	6.0	47	229	6.0	47	233	6.3	47	7	3%	0.3	4%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	140	3.7	48	180	4.7	50	200	5.4	49	60	43%	1.7	44%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	313	8.4	46	318	8.4	48	345	9.3	48	32	10%	0.9	11%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	35	0.9	53	83	2.2	56	73	2.0	50	38	109%	1.0	111%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	79	2.1	46	94	2.5	46	123	3.3	45	44	56%	1.2	57%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	126	3.4	48	146	3.8	47	204	5.5	46	78	62%	2.1	64%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				26	0.7	45	64	1.7	46	38	146%	1.0	152%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				350	9.2	48	444	12.0	49	444	27%	2.8	30%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	125	3.3	48	165	4.4	48	310	8.4	52	185	148%	5.0	151%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

静岡県

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は507,572人(-14%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1,577人(21%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は281人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

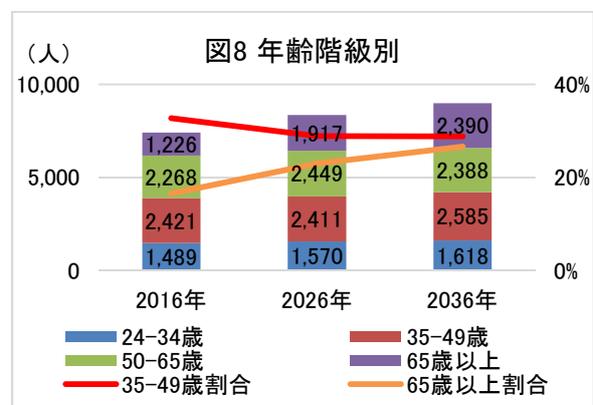
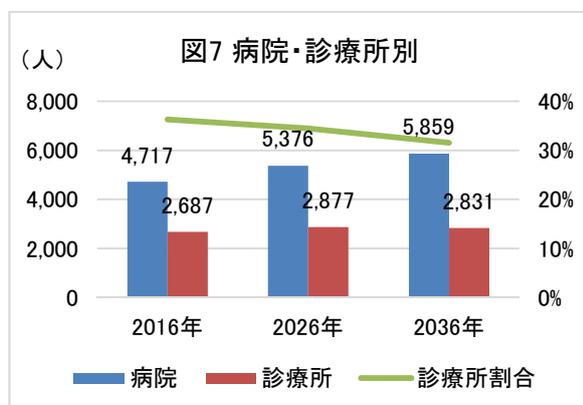
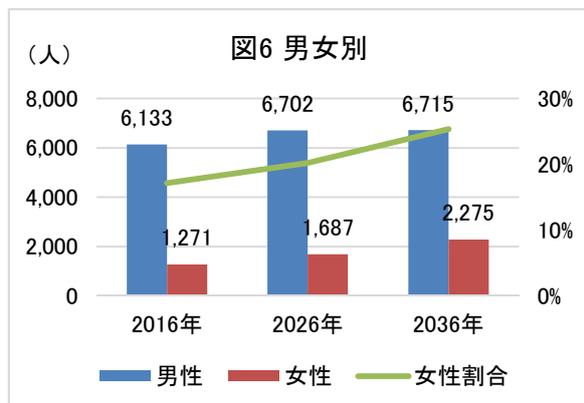
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて582人(9%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に1,004人(79%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は25%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1,142人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に144人(5%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は32%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は164人(7%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて1,164人(95%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年17%、2036年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



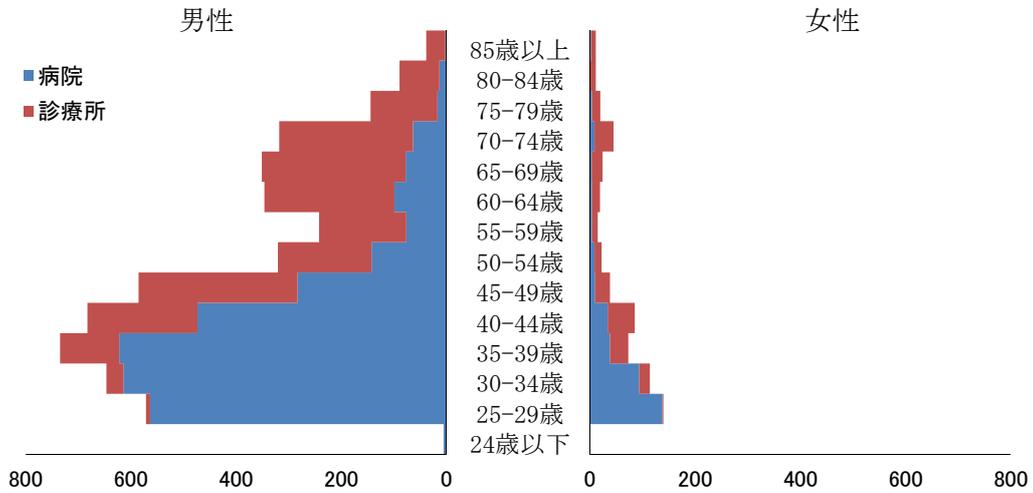
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

静岡県

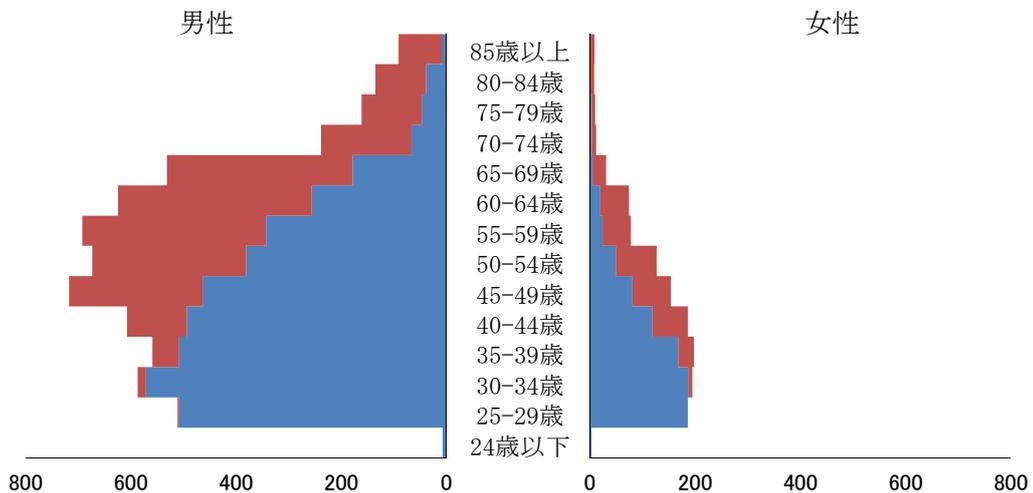
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

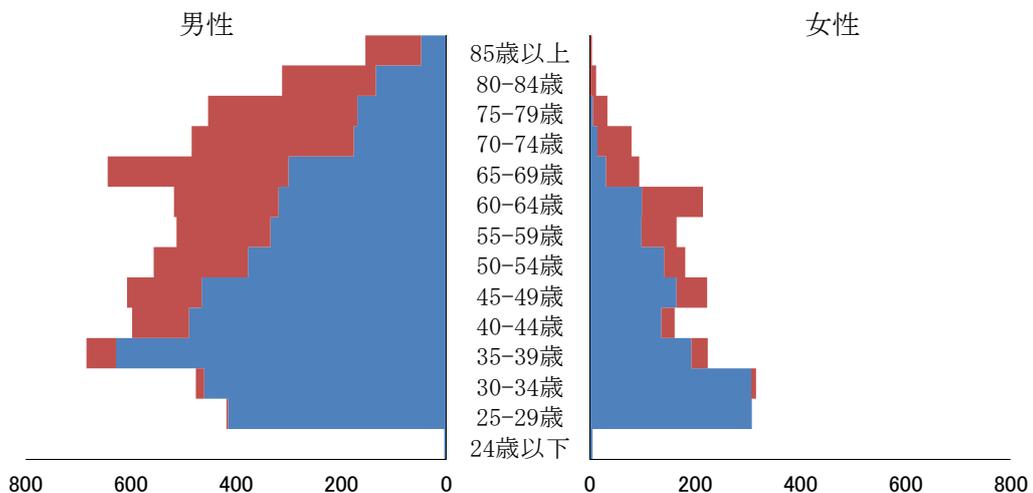
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

静岡県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	3,700,305	3,480,333	3,192,733	-507,572	-14%	-219,972	-6%	-287,600	-8%	
医療施設勤務医師数	7,404	8,347	8,981	1,577	21%	943	13%	634	8%	
人口10万対	200.1	239.8	281.3	81.2	41%	39.7	20%	41.5	17%	
男性医師数	6,133	6,702	6,715	582	9%	569	9%	13	0%	
人口10万対	165.7	192.6	210.3	44.6	27%	26.8	16%	17.8	9%	
女性医師数	1,271	1,687	2,275	1,004	79%	416	33%	588	35%	
人口10万対	34.3	48.5	71.3	36.9	107%	14.1	41%	22.8	47%	
病院勤務医師数	4,717	5,376	5,859	1,142	24%	659	14%	483	9%	
人口10万対	127.5	154.5	183.5	56.0	44%	27.0	21%	29.0	19%	
診療所勤務医師数	2,687	2,877	2,831	144	5%	190	7%	-46	-2%	
人口10万対	72.6	82.7	88.7	16.1	22%	10.0	14%	6.0	7%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	1,489	1,570	1,618	129	9%	81	5%	48	3%
	35-49歳	2,421	2,411	2,585	164	7%	-10	0%	174	7%
	50-64歳	2,268	2,449	2,388	120	5%	181	8%	-61	-2%
	65歳以上	1,226	1,917	2,390	1,164	95%	691	56%	473	25%
	75歳以上(再掲)	414	635	965	551	133%	221	53%	330	52%
男性	24-34歳	1,105	1,164	898	-207	-19%	59	5%	-266	-23%
	35-49歳	1,883	1,809	1,964	81	4%	-74	-4%	155	9%
	50-64歳	1,989	1,974	1,773	-216	-11%	-15	-1%	-201	-10%
	65歳以上	1,156	1,755	2,080	924	80%	599	52%	325	19%
	75歳以上(再掲)	387	602	889	502	130%	215	56%	287	48%
女性	24-34歳	384	404	628	244	64%	20	5%	224	55%
	35-49歳	538	643	680	142	26%	105	20%	37	6%
	50-64歳	279	492	691	412	148%	213	76%	199	40%
	65歳以上	70	148	276	206	294%	78	111%	128	86%
	75歳以上(再掲)	27	35	76	49	181%	8	30%	41	117%
病院	24-34歳	1,462	1,541	1,587	125	9%	79	5%	46	3%
	35-49歳	1,832	1,897	2,036	204	11%	65	4%	139	7%
	50-64歳	1,073	1,289	1,323	250	23%	216	20%	34	3%
	65歳以上	350	649	913	563	161%	299	85%	264	41%
	75歳以上(再掲)	98	215	372	274	280%	117	119%	157	73%
診療所	24-34歳	27	27	28	1	4%	0	0%	1	4%
	35-49歳	589	472	482	-107	-18%	-117	-20%	10	2%
	50-64歳	1,195	1,093	878	-317	-27%	-102	-9%	-215	-20%
	65歳以上	876	1,285	1,443	567	65%	409	47%	158	12%
	75歳以上(再掲)	316	457	632	316	100%	141	45%	175	38%
	85歳以上(再掲)	91	77	109	18	20%	-14	-15%	32	42%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

賀茂医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は19,991人(-23%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は28人(-22%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は146人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は1%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

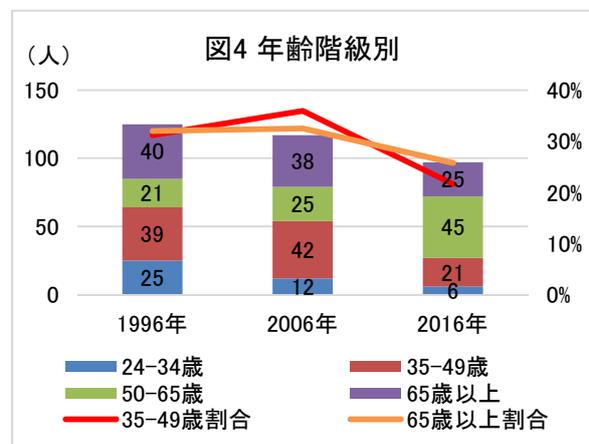
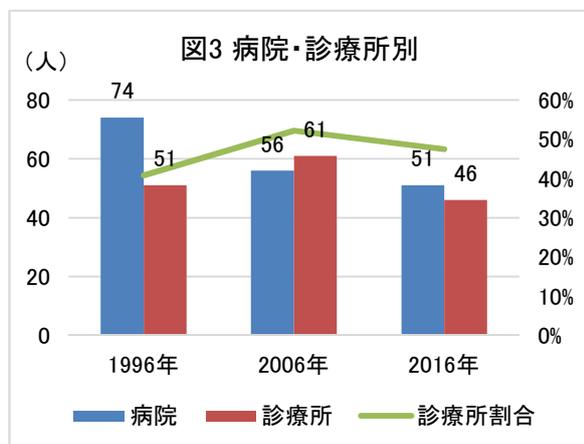
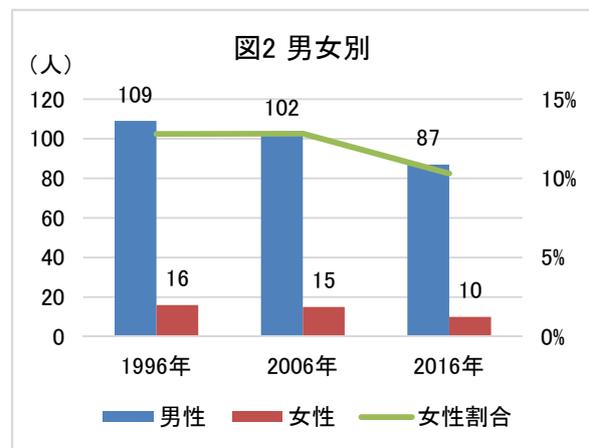
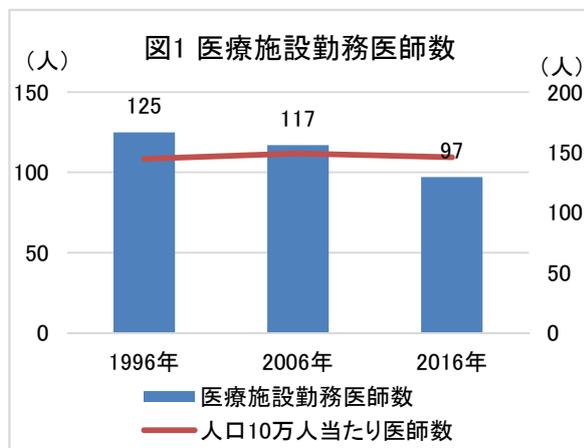
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて22人(-20%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(-38%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は10%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて23人(-31%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(-10%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は47%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は18人(-46%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて15人(-38%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年32%、2016年26%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

賀茂医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	86,429	78,504	66,438	-19,991	-23%	-7,925	-9%	-12,066	-15%	
総医師数	126	123	102	-24	-19%	-3	-2%	-21	-17%	
人口10万対	145.8	156.7	153.5	7.7	5%	10.9	7%	-3.2	-2%	
医療施設勤務医師数	125	117	97	-28	-22%	-8	-6%	-20	-17%	
人口10万対	144.6	149.0	146.0	1.4	1%	4.4	3%	-3.0	-2%	
男性医師数	109	102	87	-22	-20%	-7	-6%	-15	-15%	
人口10万対	126.1	129.9	130.9	4.8	4%	3.8	3%	1.0	1%	
女性医師数	16	15	10	-6	-38%	-1	-6%	-5	-33%	
人口10万対	18.5	19.1	15.1	-3.5	-19%	0.6	3%	-4.1	-21%	
病院勤務医師数	74	56	51	-23	-31%	-18	-24%	-5	-9%	
人口10万対	85.6	71.3	76.8	-8.9	-10%	-14.3	-17%	5.4	8%	
診療所勤務医師数	51	61	46	-5	-10%	10	20%	-15	-25%	
人口10万対	59.0	77.7	69.2	10.2	17%	18.7	32%	-8.5	-11%	
医療施設勤務医 平均年齢	53.2	54.8	57.6	4.4	8%	1.7	3%	2.7	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	25	12	6	-19	-76%	-13	-52%	-6	-50%
	35-49歳	39	42	21	-18	-46%	3	8%	-21	-50%
	50-64歳	21	25	45	24	114%	4	19%	20	80%
	65歳以上	40	38	25	-15	-38%	-2	-5%	-13	-34%
	75歳以上(再掲)	13	15	13	0	0%	2	15%	-2	-13%
男性	24-34歳	21	7	6	-15	-71%	-14	-67%	-1	-14%
	35-49歳	36	39	18	-18	-50%	3	8%	-21	-54%
	50-64歳	17	23	43	26	153%	6	35%	20	87%
	65歳以上	35	33	20	-15	-43%	-2	-6%	-13	-39%
	75歳以上(再掲)	11	13	11	0	0%	2	18%	-2	-15%
女性	24-34歳	4	5	0	-4	-100%	1	25%	-5	-100%
	35-49歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	4	2	2	-2	-50%	-2	-50%	0	0%
	65歳以上	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
病院	24-34歳	25	9	6	-19	-76%	-16	-64%	-3	-33%
	35-49歳	28	26	11	-17	-61%	-2	-7%	-15	-58%
	50-64歳	5	9	28	23	460%	4	80%	19	211%
	65歳以上	16	12	6	-10	-63%	-4	-25%	-6	-50%
	75歳以上(再掲)	1	4	3	2	200%	3	300%	-1	-25%
診療所	24-34歳	0	3	0	0		3		-3	-100%
	35-49歳	11	16	10	-1	-9%	5	45%	-6	-38%
	50-64歳	16	16	17	1	6%	0	0%	1	6%
	65歳以上	24	26	19	-5	-21%	2	8%	-7	-27%
	75歳以上(再掲)	12	11	10	-2	-17%	-1	-8%	-1	-9%
	85歳以上(再掲)	6	3	2	-4	-67%	-3	-50%	-1	-33%

賀茂医療圏

<医師数の推移>

賀茂医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、眼科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	125	144.6	45	117	149.0	43	97	146.0	40	-28	-22%	1.4	1%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	61	70.6	49	59	75.2	49	47	70.7	44	-14	-23%	0.2	0%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	8.1	44	3	3.8	33	5	7.5	39	-2	-29%	-0.6	-7%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	8	9.3	53	9	11.5	54	8	12.0	50	0	0%	2.8	30%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	16	18.5	48	17	21.7	55	10	15.1	45	-6	-38%	-3.5	-19%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	1	1.5	45	1	0%	1.5	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	6	6.9	60	2	2.5	40	4	6.0	51	-2	-33%	-0.9	-13%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	9	10.4	45	9	11.5	43	8	12.0	41	-1	-11%	1.6	16%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.3	41	2	2.5	39	2	3.0	39	0	0%	0.7	30%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	2	2.3	36	6	7.6	45	4	6.0	39	2	100%	3.7	160%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	2	2.3	37	1	1.3	32	0	0.0	27	-2	-100%	-2.3	-100%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	2.3	42	1	1.3	34	1	1.5	34	-1	-50%	-0.8	-35%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	5	5.8	41	5	6.4	43	4	6.0	41	-1	-20%	0.2	4%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.3	49	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	2.3	45	2	2.5	43	2	3.0	41	0	0%	0.7	30%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	3.5	48	0	0.0	40	1	1.5	40	-2	-67%	-2.0	-57%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

賀茂医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は18,858人(-28%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は42人(-43%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は116人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-21%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

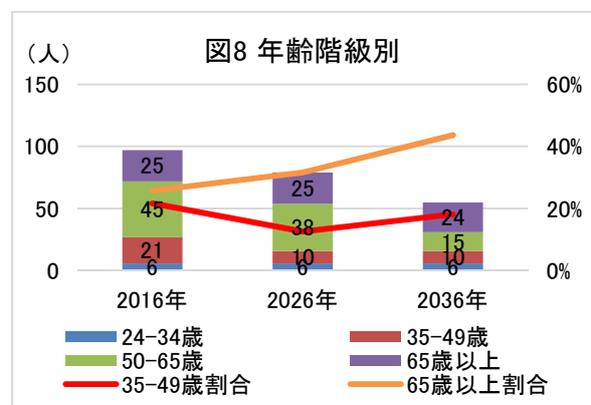
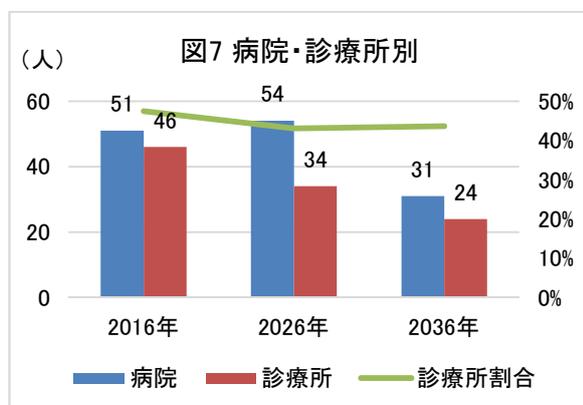
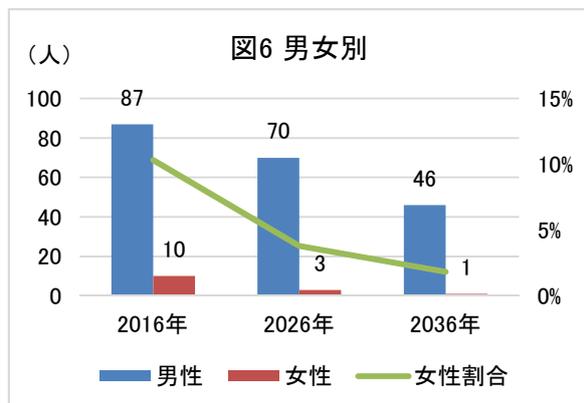
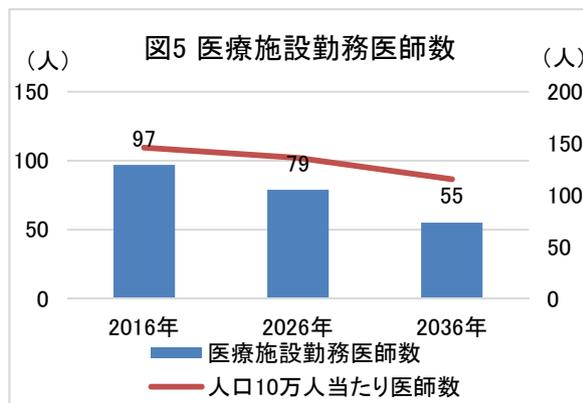
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて41人(-47%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に9人(-90%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は2%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて20人(-39%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に22人(-48%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は44%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は11人(-52%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて1人(-4%)減り、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年26%、2036年44%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



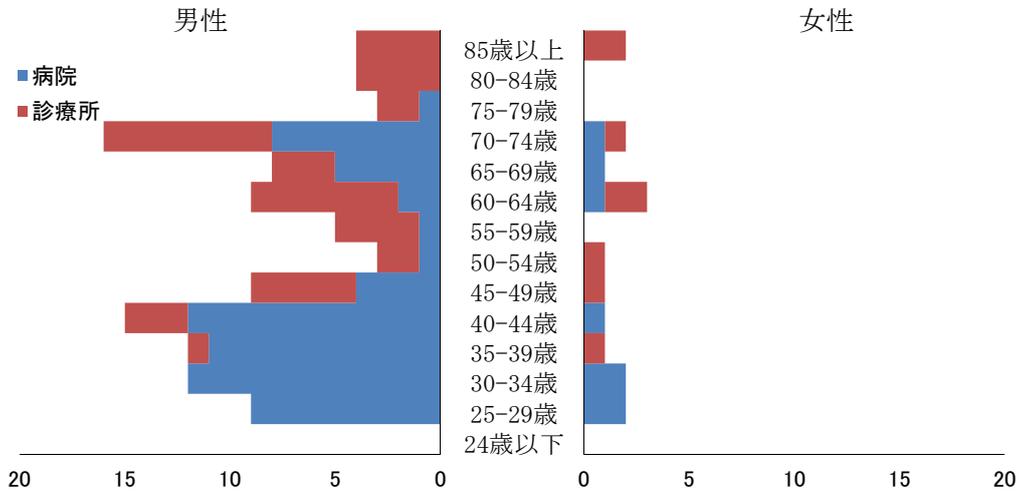
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

賀茂医療圏

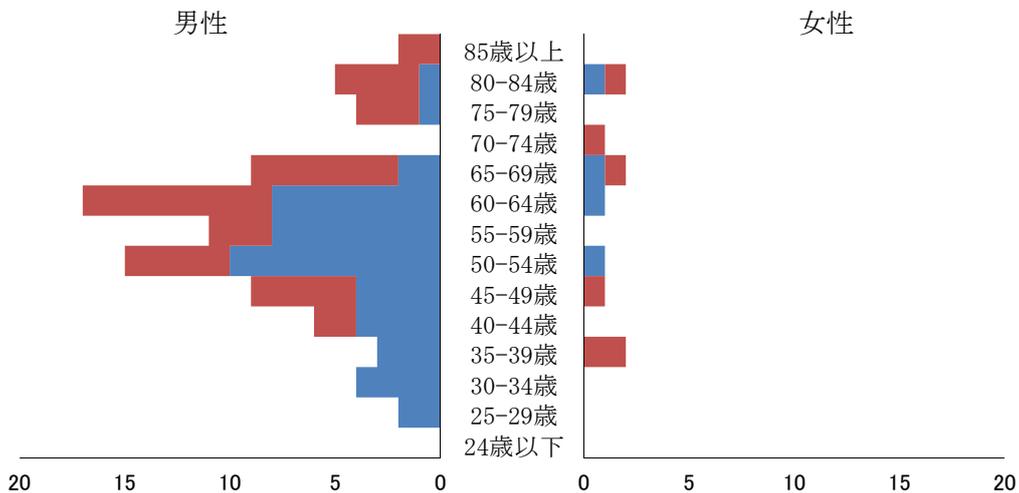
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

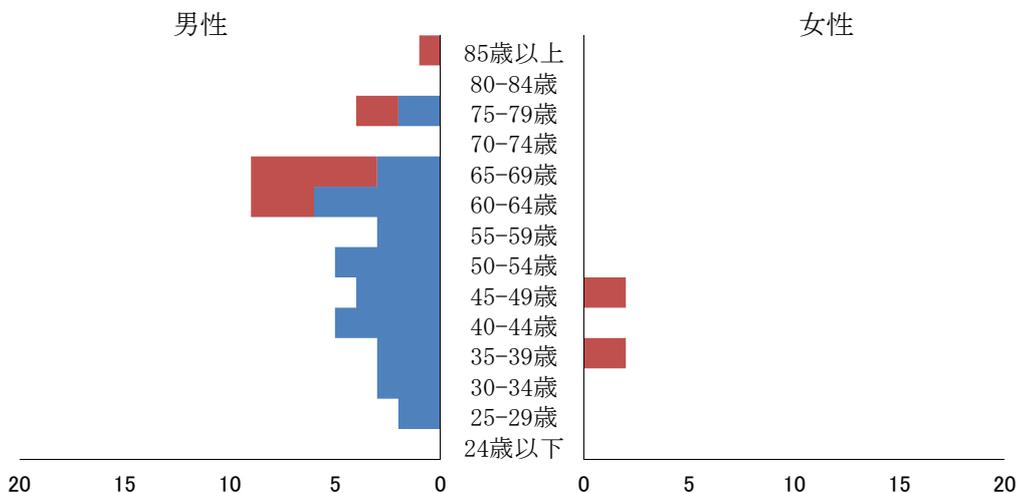
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

賀茂医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	66,438	57,954	47,580	-18,858	-28%	-8,484	-13%	-10,374	-18%	
医療施設勤務医師数	97	79	55	-42	-43%	-18	-19%	-24	-30%	
人口10万対	146.0	136.3	115.6	-30.4	-21%	-9.7	-7%	-20.7	-15%	
男性医師数	87	70	46	-41	-47%	-17	-20%	-24	-34%	
人口10万対	130.9	120.8	96.7	-34.3	-26%	-10.2	-8%	-24.1	-20%	
女性医師数	10	3	1	-9	-90%	-7	-70%	-2	-67%	
人口10万対	15.1	5.2	2.1	-12.9	-86%	-9.9	-66%	-3.1	-59%	
病院勤務医師数	51	54	31	-20	-39%	3	6%	-23	-43%	
人口10万対	76.8	93.2	65.2	-11.6	-15%	16.4	21%	-28.0	-30%	
診療所勤務医師数	46	34	24	-22	-48%	-12	-26%	-10	-29%	
人口10万対	69.2	58.7	50.4	-18.8	-27%	-10.6	-15%	-8.2	-14%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	21	10	10	-11	-52%	-11	-52%	0	0%
	50-64歳	45	38	15	-30	-67%	-7	-16%	-23	-61%
	65歳以上	25	25	24	-1	-4%	0	0%	-1	-4%
	75歳以上(再掲)	13	7	8	-5	-38%	-6	-46%	1	14%
男性	24-34歳	6	6	5	-1	-17%	0	0%	-1	-17%
	35-49歳	18	11	11	-7	-39%	-7	-39%	0	0%
	50-64歳	43	35	15	-28	-65%	-8	-19%	-20	-57%
	65歳以上	20	18	15	-5	-25%	-2	-10%	-3	-17%
	75歳以上(再掲)	11	6	6	-5	-45%	-5	-45%	0	0%
女性	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	3	1	0	-3	-100%	-2	-67%	-1	-100%
	50-64歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	65歳以上	5	2	1	-4	-80%	-3	-60%	-1	-50%
	75歳以上(再掲)	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%
病院	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	11	8	7	-4	-36%	-3	-27%	-1	-13%
	50-64歳	28	27	11	-17	-61%	-1	-4%	-16	-59%
	65歳以上	6	13	7	1	17%	7	117%	-6	-46%
	75歳以上(再掲)	3	1	2	-1	-33%	-2	-67%	1	100%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	10	4	4	-6	-60%	-6	-60%	0	0%
	50-64歳	17	14	5	-12	-71%	-3	-18%	-9	-64%
	65歳以上	19	16	15	-4	-21%	-3	-16%	-1	-6%
	75歳以上(再掲)	10	8	5	-5	-50%	-2	-20%	-3	-38%
	85歳以上(再掲)	2	2	1	-1	-50%	0	0%	-1	-50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

熱海伊東医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は12,008人(-10%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は41人(23%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は210人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は37%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

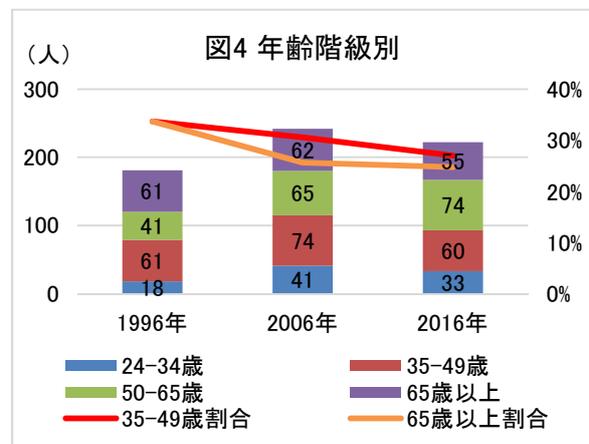
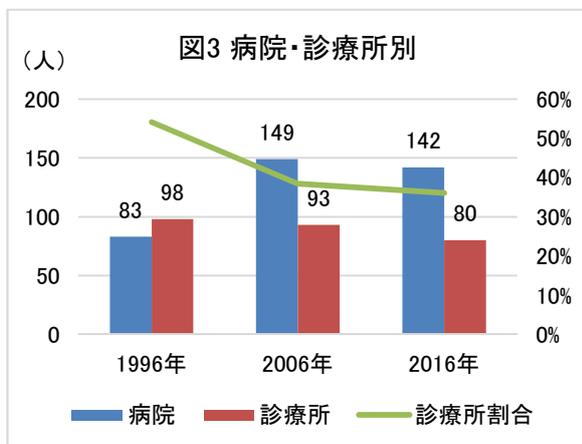
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて25人(15%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に16人(84%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて59人(71%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に18人(-18%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は36%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は1人(-2%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて6人(-10%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年34%、2016年25%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

熱海伊東医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	117,897	113,643	105,889	-12,008	-10%	-4,254	-4%	-7,754	-7%	
総医師数	186	252	227	41	22%	66	35%	-25	-10%	
人口10万対	157.8	221.7	214.4	56.6	36%	64.0	41%	-7.4	-3%	
医療施設勤務医師数	181	242	222	41	23%	61	34%	-20	-8%	
人口10万対	153.5	212.9	209.7	56.1	37%	59.4	39%	-3.3	-2%	
男性医師数	162	213	187	25	15%	51	31%	-26	-12%	
人口10万対	137.4	187.4	176.6	39.2	29%	50.0	36%	-10.8	-6%	
女性医師数	19	29	35	16	84%	10	53%	6	21%	
人口10万対	16.1	25.5	33.1	16.9	105%	9.4	58%	7.5	30%	
病院勤務医師数	83	149	142	59	71%	66	80%	-7	-5%	
人口10万対	70.4	131.1	134.1	63.7	90%	60.7	86%	3.0	2%	
診療所勤務医師数	98	93	80	-18	-18%	-5	-5%	-13	-14%	
人口10万対	83.1	81.8	75.6	-7.6	-9%	-1.3	-2%	-6.3	-8%	
医療施設勤務医 平均年齢	55.2	52.9	53.0	-2.2	-4%	-2.4	-4%	0.2	0%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	18	41	33	15	83%	23	128%	-8	-20%
	35-49歳	61	74	60	-1	-2%	13	21%	-14	-19%
	50-64歳	41	65	74	33	80%	24	59%	9	14%
	65歳以上	61	62	55	-6	-10%	1	2%	-7	-11%
	75歳以上(再掲)	17	26	15	-2	-12%	9	53%	-11	-42%
男性	24-34歳	18	34	26	8	44%	16	89%	-8	-24%
	35-49歳	55	62	47	-8	-15%	7	13%	-15	-24%
	50-64歳	40	62	66	26	65%	22	55%	4	6%
	65歳以上	49	55	48	-1	-2%	6	12%	-7	-13%
	75歳以上(再掲)	14	21	10	-4	-29%	7	50%	-11	-52%
女性	24-34歳	0	7	7	7		7		0	0%
	35-49歳	6	12	13	7	117%	6	100%	1	8%
	50-64歳	1	3	8	7	700%	2	200%	5	167%
	65歳以上	12	7	7	-5	-42%	-5	-42%	0	0%
	75歳以上(再掲)	3	5	5	2	67%	2	67%	0	0%
病院	24-34歳	17	41	32	15	88%	24	141%	-9	-22%
	35-49歳	39	48	43	4	10%	9	23%	-5	-10%
	50-64歳	13	35	41	28	215%	22	169%	6	17%
	65歳以上	14	25	26	12	86%	11	79%	1	4%
	75歳以上(再掲)	6	8	3	-3	-50%	2	33%	-5	-63%
診療所	24-34歳	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
	35-49歳	22	26	17	-5	-23%	4	18%	-9	-35%
	50-64歳	28	30	33	5	18%	2	7%	3	10%
	65歳以上	47	37	29	-18	-38%	-10	-21%	-8	-22%
	75歳以上(再掲)	11	18	12	1	9%	7	64%	-6	-33%
	85歳以上(再掲)	2	1	5	3	150%	-1	-50%	4	400%

熱海伊東医療圏

＜医師数の推移＞

熱海伊東医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、脳神経外科、耳鼻咽喉科、臨床研修医であり、少ない診療科は、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、形成外科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、整形外科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	181	153.5	46	242	212.9	51	222	209.7	47	41	23%	56.1	37%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	90	76.3	50	100	88.0	53	84	79.3	47	-6	-7%	3.0	4%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	10	8.5	44	13	11.4	50	9	8.5	41	-1	-10%	0.0	0%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	1	0.8	32	2	1.8	32	4	3.8	34	3	300%	2.9	345%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	18	15.3	44	25	22.0	56	15	14.2	44	-3	-17%	-1.1	-7%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	3.4	46	9	7.9	63	10	9.4	64	6	150%	6.1	178%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	17	14.4	53	14	12.3	45	16	15.1	47	-1	-6%	0.7	5%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	6	5.1	49	8	7.0	53	7	6.6	48	1	17%	1.5	30%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	9	7.6	48	9	7.9	46	9	8.5	46	0	0%	0.9	11%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	6	5.1	44	8	7.0	50	12	11.3	63	6	100%	6.2	123%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	3.4	47	7	6.2	56	7	6.6	54	3	75%	3.2	95%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	10	8.5	47	13	11.4	56	8	7.6	44	-2	-20%	-0.9	-11%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.8	52	2	1.8	53	1	0.9	44	0	0%	0.1	11%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	4	3.5	49	3	2.8	44	3	0	2.8	0
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.7	43	6	5.3	51	4	3.8	42	2	100%	2.1	123%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	0.9	42	1	0	0.9	0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				18	15.8	55	24	22.7	60	24	33%	6.8	43%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	2.5	46	4	3.5	47	8	7.6	50	5	167%	5.0	197%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

熱海伊東医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は28,299人(-27%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は27人(-12%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は251人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は20%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

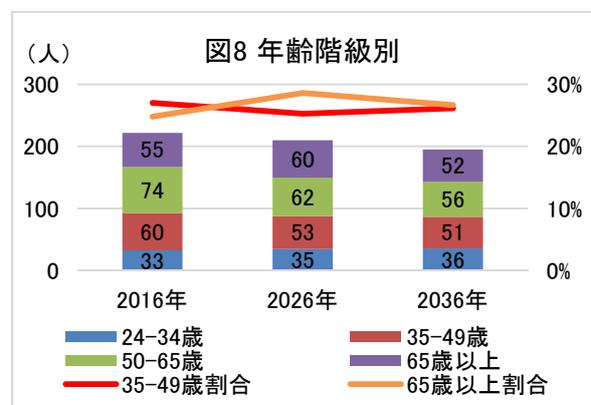
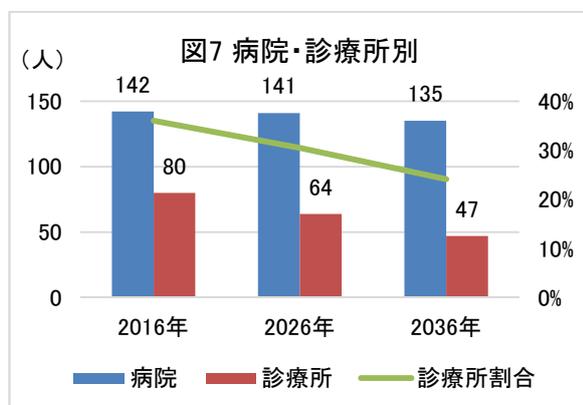
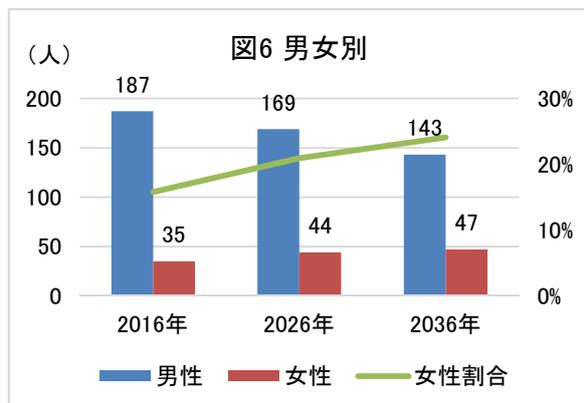
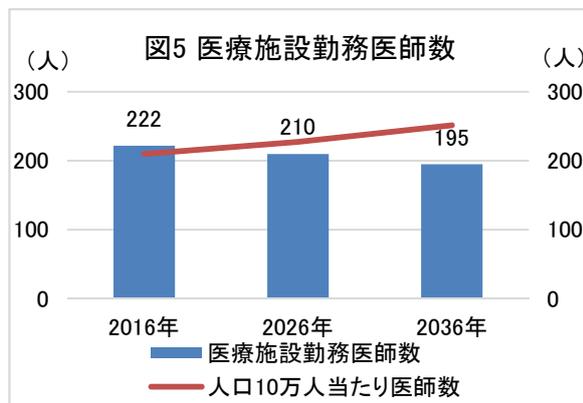
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて44人(-24%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に12人(34%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は24%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて7人(-5%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に33人(-41%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は24%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は9人(-15%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて3人(-5%)減り、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年25%、2036年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



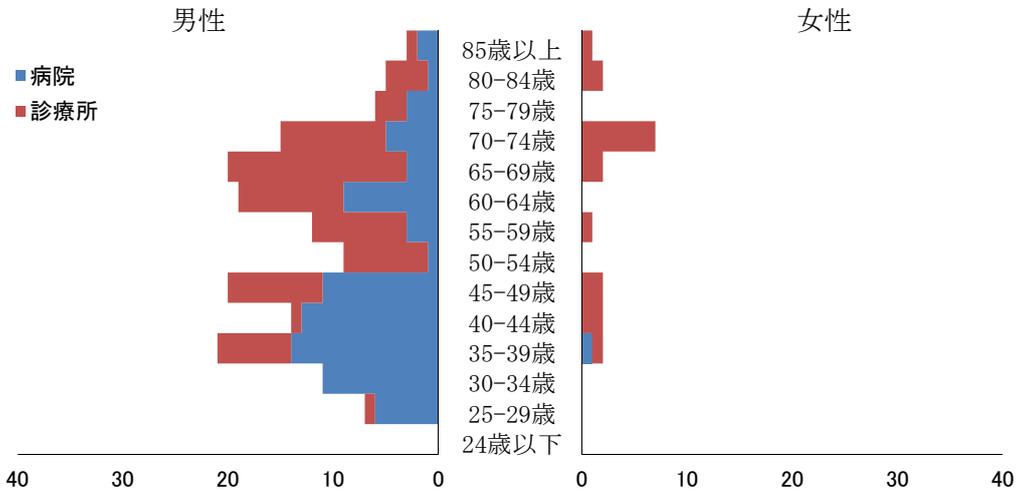
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

熱海伊東医療圏

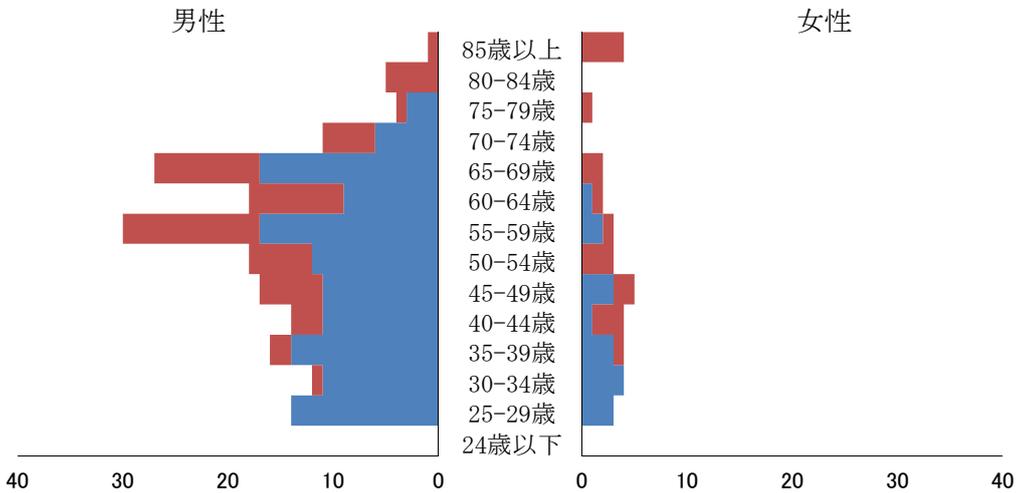
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

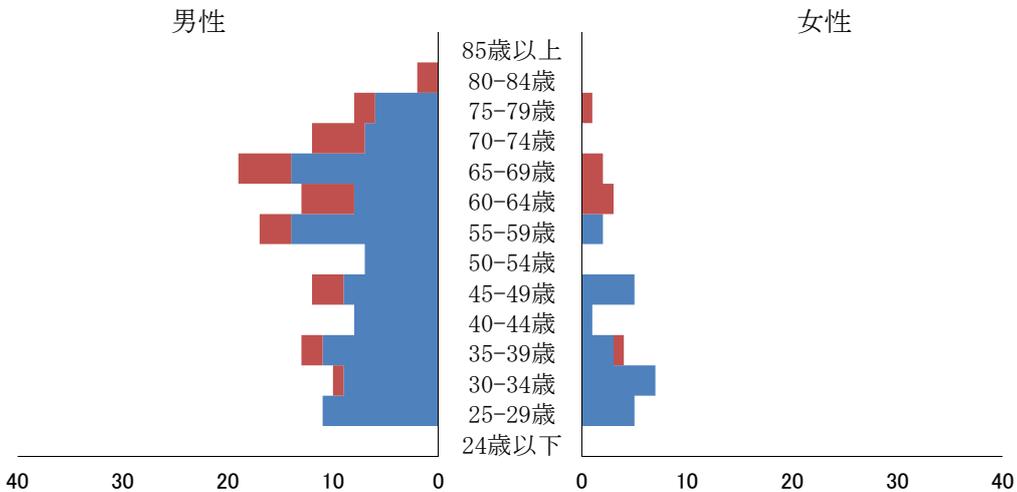
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

熱海伊東医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	105,889	92,272	77,590	-28,299	-27%	-13,617	-13%	-14,682	-16%	
医療施設勤務医師数	222	210	195	-27	-12%	-12	-5%	-15	-7%	
人口10万対	209.7	227.6	251.3	41.7	20%	17.9	9%	23.7	10%	
男性医師数	187	169	143	-44	-24%	-18	-10%	-26	-15%	
人口10万対	176.6	183.2	184.3	7.7	4%	6.6	4%	1.1	1%	
女性医師数	35	44	47	12	34%	9	26%	3	7%	
人口10万対	33.1	47.7	60.6	27.5	83%	14.6	44%	12.9	27%	
病院勤務医師数	142	141	135	-7	-5%	-1	-1%	-6	-4%	
人口10万対	134.1	152.8	174.0	39.9	30%	18.7	14%	21.2	14%	
診療所勤務医師数	80	64	47	-33	-41%	-16	-20%	-17	-27%	
人口10万対	75.6	69.4	60.6	-15.0	-20%	-6.2	-8%	-8.8	-13%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	33	35	36	3	9%	2	6%	1	3%
	35-49歳	60	53	51	-9	-15%	-7	-12%	-2	-4%
	50-64歳	74	62	56	-18	-24%	-12	-16%	-6	-10%
	65歳以上	55	60	52	-3	-5%	5	9%	-8	-13%
	75歳以上(再掲)	15	15	15	0	0%	0	0%	0	0%
男性	24-34歳	26	27	21	-5	-19%	1	4%	-6	-22%
	35-49歳	47	39	36	-11	-23%	-8	-17%	-3	-8%
	50-64歳	66	52	44	-22	-33%	-14	-21%	-8	-15%
	65歳以上	48	51	42	-6	-13%	3	6%	-9	-18%
	75歳以上(再掲)	10	10	12	2	20%	0	0%	2	20%
女性	24-34歳	7	7	11	4	57%	0	0%	4	57%
	35-49歳	13	18	18	5	38%	5	38%	0	0%
	50-64歳	8	11	13	5	63%	3	38%	2	18%
	65歳以上	7	8	5	-2	-29%	1	14%	-3	-38%
	75歳以上(再掲)	5	5	2	-3	-60%	0	0%	-3	-60%
病院	24-34歳	32	34	35	3	9%	2	6%	1	3%
	35-49歳	43	38	36	-7	-16%	-5	-12%	-2	-5%
	50-64歳	41	36	34	-7	-17%	-5	-12%	-2	-6%
	65歳以上	26	33	30	4	15%	7	27%	-3	-9%
	75歳以上(再掲)	3	5	6	3	100%	2	67%	1	20%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	17	9	9	-8	-47%	-8	-47%	0	0%
	50-64歳	33	28	16	-17	-52%	-5	-15%	-12	-43%
	65歳以上	29	26	21	-8	-28%	-3	-10%	-5	-19%
	75歳以上(再掲)	12	8	7	-5	-42%	-4	-33%	-1	-13%
	85歳以上(再掲)	5	3	2	-3	-60%	-2	-40%	-1	-33%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

駿東田方医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は11,957人(-2%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は421人(42%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は217人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は45%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

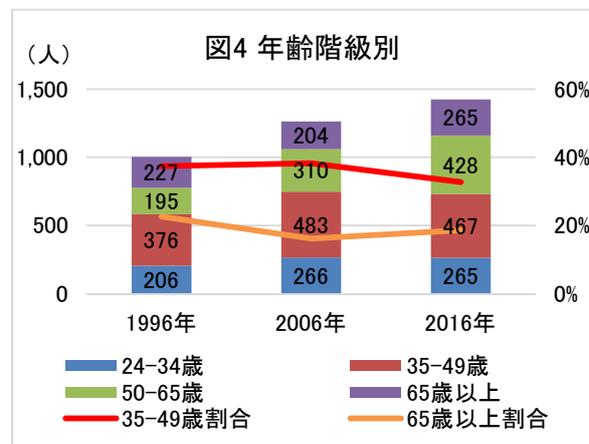
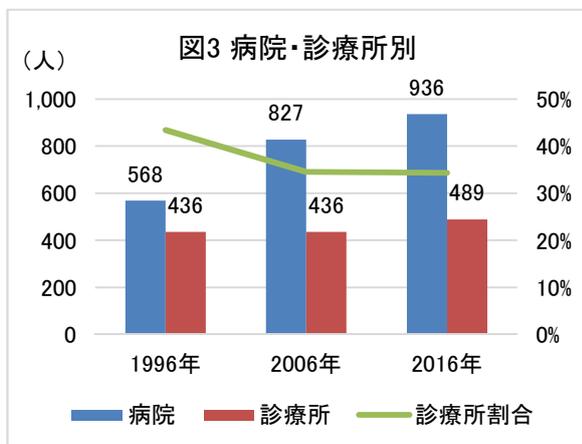
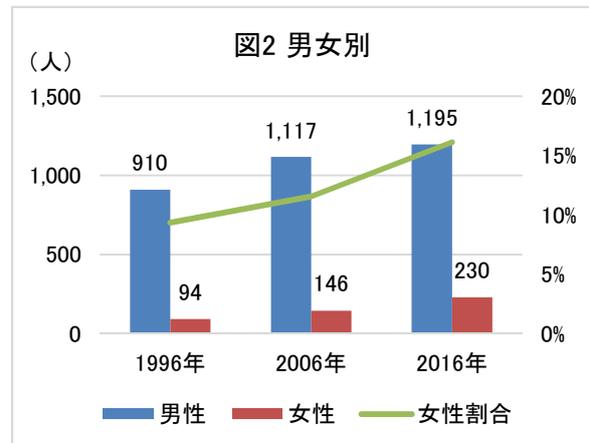
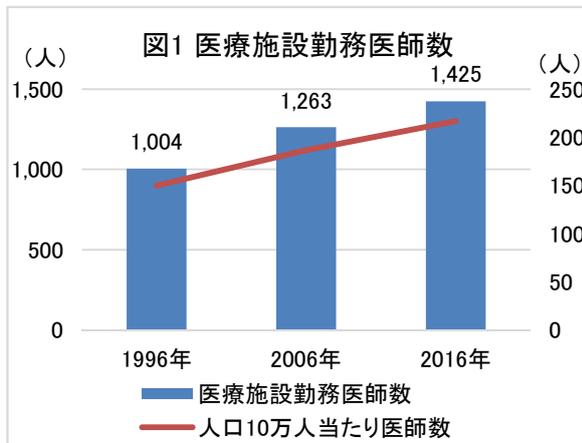
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて285人(31%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に136人(145%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて368人(65%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に53人(12%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は91人(24%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて38人(17%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年19%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

駿東田方医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	669,527	676,880	657,570	-11,957	-2%	7,353	1%	-19,310	-3%	
総医師数	1,021	1,310	1,451	430	42%	289	28%	141	11%	
人口10万対	152.5	193.5	220.7	68.2	45%	41.0	27%	27.1	14%	
医療施設勤務医師数	1,004	1,263	1,425	421	42%	259	26%	162	13%	
人口10万対	150.0	186.6	216.7	66.8	45%	36.6	24%	30.1	16%	
男性医師数	910	1,117	1,195	285	31%	207	23%	78	7%	
人口10万対	135.9	165.0	181.7	45.8	34%	29.1	21%	16.7	10%	
女性医師数	94	146	230	136	145%	52	55%	84	58%	
人口10万対	14.0	21.6	35.0	20.9	149%	7.5	54%	13.4	62%	
病院勤務医師数	568	827	936	368	65%	259	46%	109	13%	
人口10万対	84.8	122.2	142.3	57.5	68%	37.3	44%	20.2	17%	
診療所勤務医師数	436	436	489	53	12%	0	0%	53	12%	
人口10万対	65.1	64.4	74.4	9.2	14%	-0.7	-1%	10.0	15%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.7	48.4	50.5	0.8	2%	-1.2	-3%	2.1	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	206	266	265	59	29%	60	29%	-1	0%
	35-49歳	376	483	467	91	24%	107	28%	-16	-3%
	50-64歳	195	310	428	233	119%	115	59%	118	38%
	65歳以上	227	204	265	38	17%	-23	-10%	61	30%
	75歳以上(再掲)	59	96	95	36	61%	37	63%	-1	-1%
男性	24-34歳	175	211	198	23	13%	36	21%	-13	-6%
	35-49歳	346	425	366	20	6%	79	23%	-59	-14%
	50-64歳	184	291	375	191	104%	107	58%	84	29%
	65歳以上	205	190	256	51	25%	-15	-7%	66	35%
	75歳以上(再掲)	54	86	91	37	69%	32	59%	5	6%
女性	24-34歳	31	55	67	36	116%	24	77%	12	22%
	35-49歳	30	58	101	71	237%	28	93%	43	74%
	50-64歳	11	19	53	42	382%	8	73%	34	179%
	65歳以上	22	14	9	-13	-59%	-8	-36%	-5	-36%
	75歳以上(再掲)	5	10	4	-1	-20%	5	100%	-6	-60%
病院	24-34歳	195	263	262	67	34%	68	35%	-1	0%
	35-49歳	247	360	359	112	45%	113	46%	-1	0%
	50-64歳	71	148	226	155	218%	77	108%	78	53%
	65歳以上	55	56	89	34	62%	1	2%	33	59%
	75歳以上(再掲)	12	16	28	16	133%	4	33%	12	75%
診療所	24-34歳	11	3	3	-8	-73%	-8	-73%	0	0%
	35-49歳	129	123	108	-21	-16%	-6	-5%	-15	-12%
	50-64歳	124	162	202	78	63%	38	31%	40	25%
	65歳以上	172	148	176	4	2%	-24	-14%	28	19%
	75歳以上(再掲)	47	80	67	20	43%	33	70%	-13	-16%
	85歳以上(再掲)	9	8	21	12	133%	-1	-11%	13	163%

駿東田方医療圏

＜医師数の推移＞

駿東田方医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)であり、少ない診療科は、小児科、精神科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,004	150.0	46	1,263	186.6	48	1,425	216.7	47	421	42%	66.8	45%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	394	58.8	45	460	68.0	46	501	76.2	46	107	27%	17.3	29%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	60	9.0	46	65	9.6	46	68	10.3	45	8	13%	1.4	15%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	28	4.2	40	44	6.5	43	58	8.8	44	30	107%	4.6	111%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	124	18.5	48	138	20.4	53	163	24.8	58	39	31%	6.3	34%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	2	0.3	48	1	0.1	44	3	0.5	47	1	50%	0.2	53%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	12	1.8	51	13	1.9	49	19	2.9	52	7	58%	1.1	61%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	36	5.4	54	41	6.1	55	41	6.2	52	5	14%	0.9	16%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	89	13.3	50	99	14.6	50	117	17.8	52	28	31%	4.5	34%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	5	0.7	47	9	1.3	49	17	2.6	54	12	240%	1.8	246%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	24	3.6	45	35	5.2	47	42	6.4	48	18	75%	2.8	78%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	46	6.9	46	52	7.7	45	60	9.1	47	14	30%	2.3	33%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	43	6.4	48	41	6.1	47	40	6.1	46	-3	-7%	-0.3	-5%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	20	3.0	45	41	6.1	56	37	5.6	50	17	85%	2.6	88%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	58	8.7	47	67	9.9	52	68	10.3	50	10	17%	1.7	19%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	16	2.4	72	21	3.1	64	10	1.5	47	-6	-38%	-0.9	-36%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	13	1.9	45	28	4.1	51	33	5.0	50	20	154%	3.1	158%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	16	2.4	45	27	4.0	47	38	5.8	47	22	138%	3.4	142%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.1	41	8	1.2	44	7	700%	1.1	723%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				60	8.9	47	54	8.2	45	54	-10%	-0.7	-7%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	18	2.7	46	20	3.0	46	48	7.3	50	30	167%	4.6	172%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

駿東田方医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は85,466人(-13%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は263人(18%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は295人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は36%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

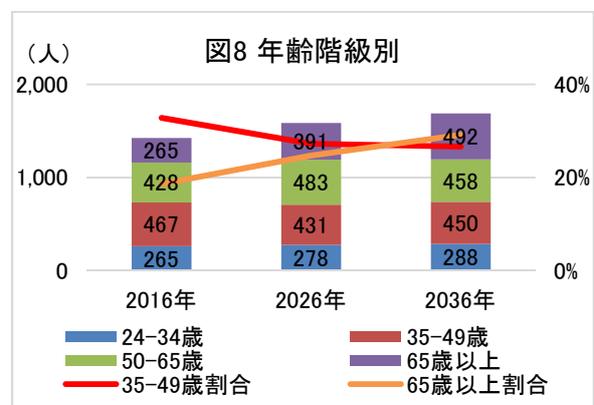
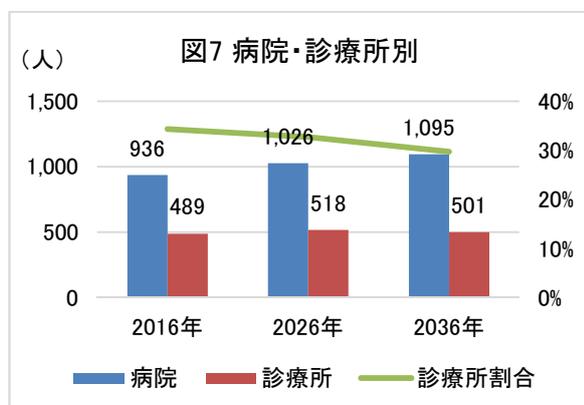
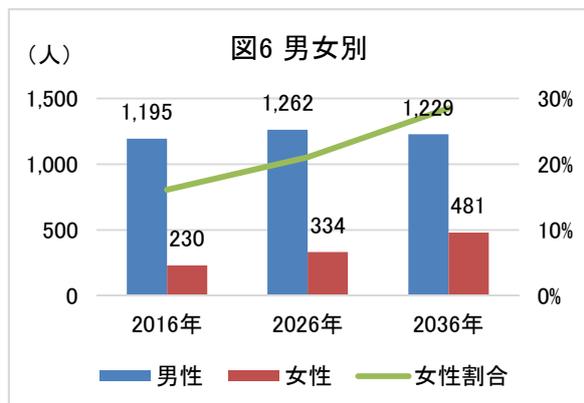
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて34人(3%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に251人(109%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は28%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて159人(17%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に12人(2%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は30%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は17人(-4%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて227人(86%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



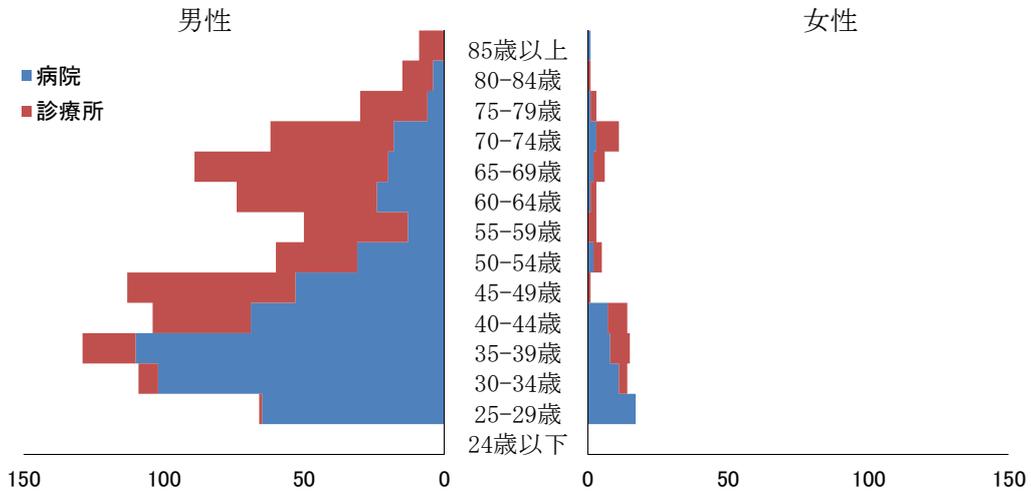
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

駿東田方医療圏

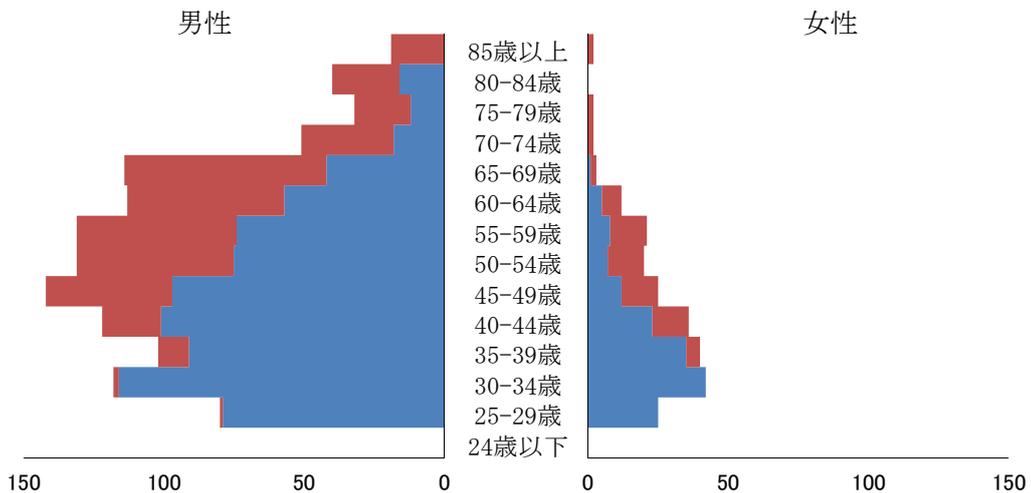
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

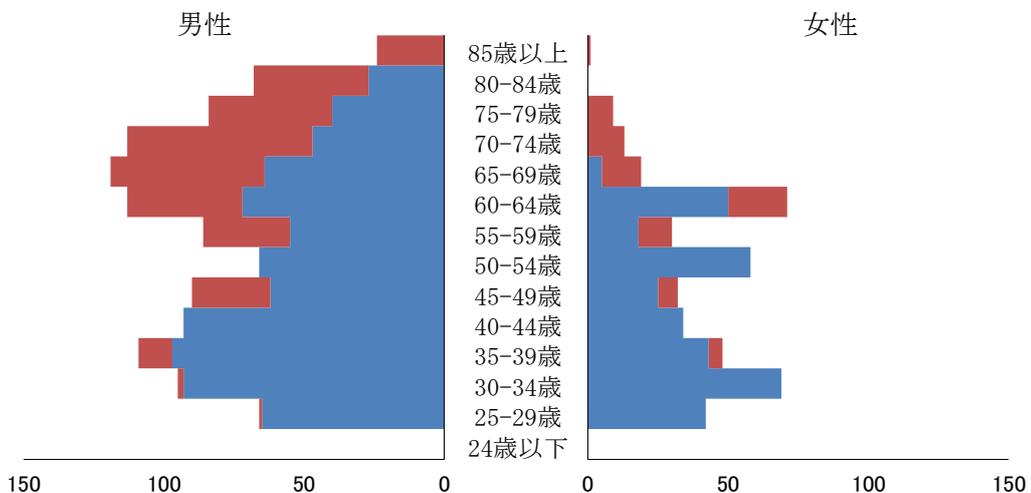
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

駿東田方医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	657,570	623,116	572,104	-85,466	-13%	-34,454	-5%	-51,012	-8%	
医療施設勤務医師数	1,425	1,583	1,688	263	18%	158	11%	105	7%	
人口10万対	216.7	254.0	295.1	78.3	36%	37.3	17%	41.0	16%	
男性医師数	1,195	1,262	1,229	34	3%	67	6%	-33	-3%	
人口10万対	181.7	202.5	214.8	33.1	18%	20.8	11%	12.3	6%	
女性医師数	230	334	481	251	109%	104	45%	147	44%	
人口10万対	35.0	53.6	84.1	49.1	140%	18.6	53%	30.5	57%	
病院勤務医師数	936	1,026	1,095	159	17%	90	10%	69	7%	
人口10万対	142.3	164.7	191.4	49.1	34%	22.3	16%	26.7	16%	
診療所勤務医師数	489	518	501	12	2%	29	6%	-17	-3%	
人口10万対	74.4	83.1	87.6	13.2	18%	8.8	12%	4.4	5%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	265	278	288	23	9%	13	5%	10	4%
	35-49歳	467	431	450	-17	-4%	-36	-8%	19	4%
	50-64歳	428	483	458	30	7%	55	13%	-25	-5%
	65歳以上	265	391	492	227	86%	126	48%	101	26%
	75歳以上(再掲)	95	141	204	109	115%	46	48%	63	45%
男性	24-34歳	198	208	161	-37	-19%	10	5%	-47	-23%
	35-49歳	366	306	316	-50	-14%	-60	-16%	10	3%
	50-64歳	375	389	320	-55	-15%	14	4%	-69	-18%
	65歳以上	256	359	432	176	69%	103	40%	73	20%
	75歳以上(再掲)	91	136	186	95	104%	45	49%	50	37%
女性	24-34歳	67	70	109	42	63%	3	4%	39	56%
	35-49歳	101	128	139	38	38%	27	27%	11	9%
	50-64歳	53	111	186	133	251%	58	109%	75	68%
	65歳以上	9	25	47	38	422%	16	178%	22	88%
	75歳以上(再掲)	4	4	14	10	250%	0	0%	10	250%
病院	24-34歳	262	275	284	22	8%	13	5%	9	3%
	35-49歳	359	338	354	-5	-1%	-21	-6%	16	5%
	50-64歳	226	270	265	39	17%	44	19%	-5	-2%
	65歳以上	89	143	192	103	116%	54	61%	49	34%
	75歳以上(再掲)	28	43	71	43	154%	15	54%	28	65%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	108	73	74	-34	-31%	-35	-32%	1	1%
	50-64歳	202	203	146	-56	-28%	1	0%	-57	-28%
	65歳以上	176	239	278	102	58%	63	36%	39	16%
	75歳以上(再掲)	67	94	124	57	85%	27	40%	30	32%
	85歳以上(再掲)	21	18	25	4	19%	-3	-14%	7	39%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

富士医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は2,185人（1%）増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は84人（18%）増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は146人であり、全国平均（240人）と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は17%増え、その伸び率は全国平均（31%）を下回る。

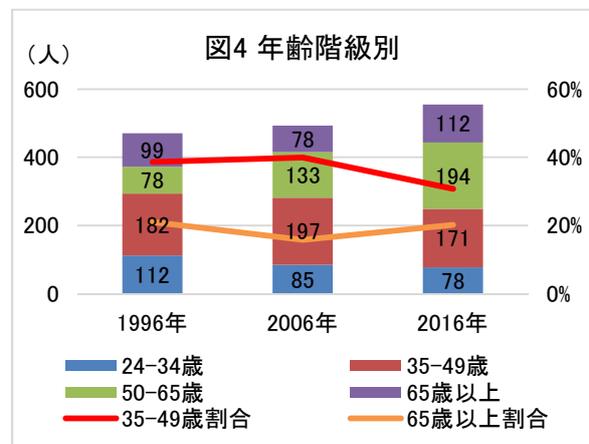
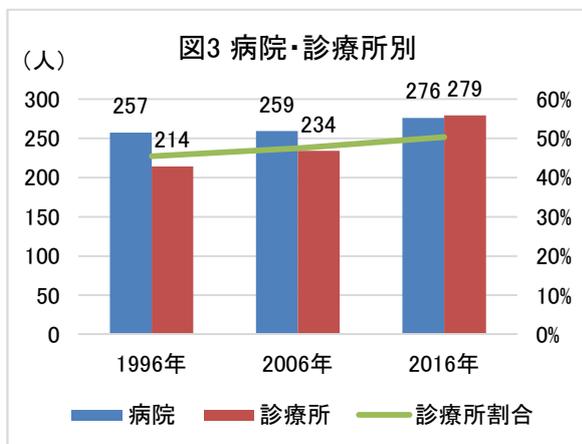
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて52人（12%）増え、全国平均（20%）を下回る増加率である。女性医師は、同期間に32人（80%）増え、全国平均（111%）を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均（21%）を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて19人（7%）増え、全国平均（37%）を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に65人（30%）増え、全国平均（25%）を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は50%と、全国平均（34%）を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は11人（-6%）減り、全国平均（11%）を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて13人（13%）増え、全国平均（20%）を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年20%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

富士医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	376,984	384,773	379,169	2,185	1%	7,789	2%	-5,604	-1%	
総医師数	474	505	569	95	20%	31	7%	64	13%	
人口10万対	125.7	131.2	150.1	24.3	19%	5.5	4%	18.8	14%	
医療施設勤務医師数	471	493	555	84	18%	22	5%	62	13%	
人口10万対	124.9	128.1	146.4	21.4	17%	3.2	3%	18.2	14%	
男性医師数	431	435	483	52	12%	4	1%	48	11%	
人口10万対	114.3	113.1	127.4	13.1	11%	-1.3	-1%	14.3	13%	
女性医師数	40	58	72	32	80%	18	45%	14	24%	
人口10万対	10.6	15.1	19.0	8.4	79%	4.5	42%	3.9	26%	
病院勤務医師数	257	259	276	19	7%	2	1%	17	7%	
人口10万対	68.2	67.3	72.8	4.6	7%	-0.9	-1%	5.5	8%	
診療所勤務医師数	214	234	279	65	30%	20	9%	45	19%	
人口10万対	56.8	60.8	73.6	16.8	30%	4.0	7%	12.8	21%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.3	49.4	52.6	4.3	9%	1.1	2%	3.2	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	112	85	78	-34	-30%	-27	-24%	-7	-8%
	35-49歳	182	197	171	-11	-6%	15	8%	-26	-13%
	50-64歳	78	133	194	116	149%	55	71%	61	46%
	65歳以上	99	78	112	13	13%	-21	-21%	34	44%
	75歳以上(再掲)	30	41	42	12	40%	11	37%	1	2%
男性	24-34歳	98	68	62	-36	-37%	-30	-31%	-6	-9%
	35-49歳	168	175	143	-25	-15%	7	4%	-32	-18%
	50-64歳	75	121	170	95	127%	46	61%	49	40%
	65歳以上	90	71	108	18	20%	-19	-21%	37	52%
	75歳以上(再掲)	25	36	39	14	56%	11	44%	3	8%
女性	24-34歳	14	17	16	2	14%	3	21%	-1	-6%
	35-49歳	14	22	28	14	100%	8	57%	6	27%
	50-64歳	3	12	24	21	700%	9	300%	12	100%
	65歳以上	9	7	4	-5	-56%	-2	-22%	-3	-43%
	75歳以上(再掲)	5	5	3	-2	-40%	0	0%	-2	-40%
病院	24-34歳	104	77	75	-29	-28%	-27	-26%	-2	-3%
	35-49歳	110	122	105	-5	-5%	12	11%	-17	-14%
	50-64歳	23	48	67	44	191%	25	109%	19	40%
	65歳以上	20	12	29	9	45%	-8	-40%	17	142%
	75歳以上(再掲)	5	6	11	6	120%	1	20%	5	83%
診療所	24-34歳	8	8	3	-5	-63%	0	0%	-5	-63%
	35-49歳	72	75	66	-6	-8%	3	4%	-9	-12%
	50-64歳	55	85	127	72	131%	30	55%	42	49%
	65歳以上	79	66	83	4	5%	-13	-16%	17	26%
	75歳以上(再掲)	25	35	31	6	24%	10	40%	-4	-11%
	85歳以上(再掲)	2	4	8	6	300%	2	100%	4	100%

富士医療圏

＜医師数の推移＞

富士医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、心臓血管外科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	471	124.9	43	493	128.1	40	555	146.4	40	84	18%	21.4	17%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	160	42.4	40	177	46.0	39	208	54.9	39	48	30%	12.4	29%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	35	9.3	46	36	9.4	45	33	8.7	41	-2	-6%	-0.6	-6%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	23	6.1	45	24	6.2	42	35	9.2	44	12	52%	3.1	51%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	61	16.2	45	47	12.2	41	50	13.2	42	-11	-18%	-3.0	-19%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	3	0.8	44	2	0.5	41	1	0.3	38	-2	-67%	-0.5	-67%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	20	5.3	53	22	5.7	54	25	6.6	53	5	25%	1.3	24%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	43	11.4	47	41	10.7	41	50	13.2	43	7	16%	1.8	16%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	3	0.8	48	3	0.8	45	3	0.8	42	0	0%	-0.0	-1%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	13	3.4	44	13	3.4	41	17	4.5	43	4	31%	1.0	30%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	29	7.7	48	36	9.4	49	34	9.0	47	5	17%	1.3	17%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	21	5.6	46	21	5.5	45	21	5.5	44	0	0%	-0.0	-1%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	11	2.9	45	14	3.6	45	20	5.3	49	9	82%	2.4	81%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	29	7.7	45	27	7.0	44	28	7.4	44	-1	-3%	-0.3	-4%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	3	0.8	44	5	1.3	46	5	1.3	1.3	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	8	2.1	46	3	0.8	40	6	1.6	40	-2	-25%	-0.5	-25%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	10	2.7	46	7	1.8	41	8	2.1	39	-2	-20%	-0.5	-20%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				8	2.1	39	10	2.6	39	10	25%	0.6	27%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	0.5	41	9	2.3	44	1	0.3	38	-1	-50%	-0.3	-50%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

富士医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は43,367人(-11%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は74人(13%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は187人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

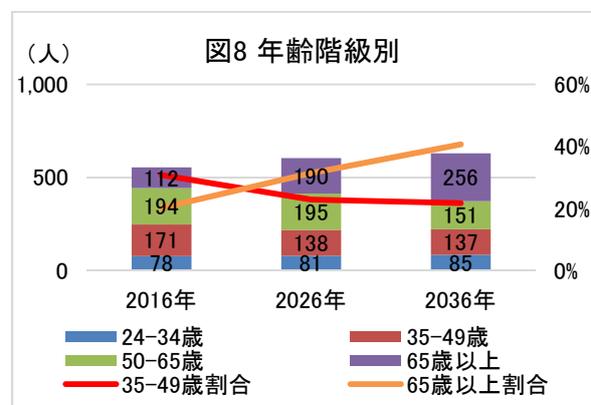
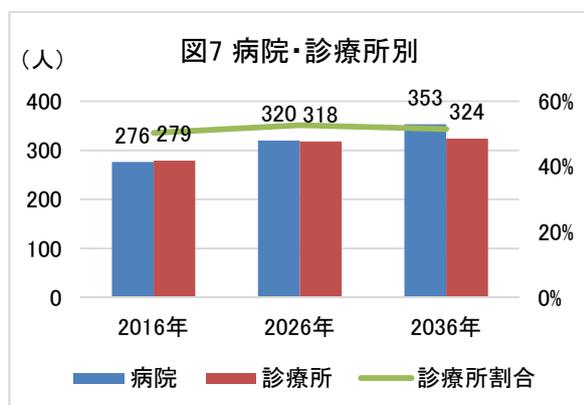
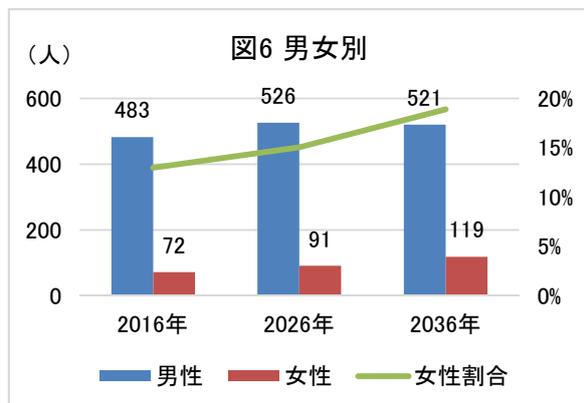
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて38人(8%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に47人(65%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は19%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて77人(28%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に45人(16%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は52%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は34人(-20%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて144人(129%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年41%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



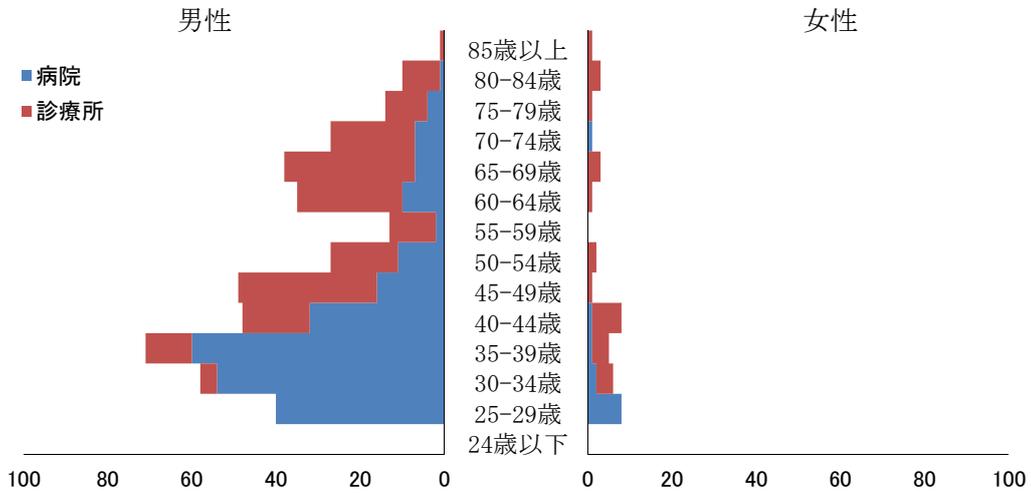
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

富士医療圏

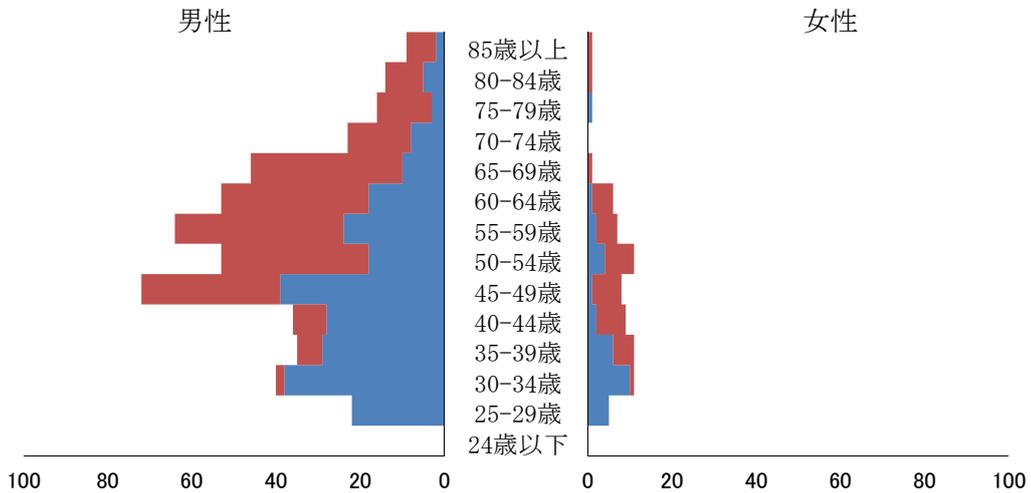
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

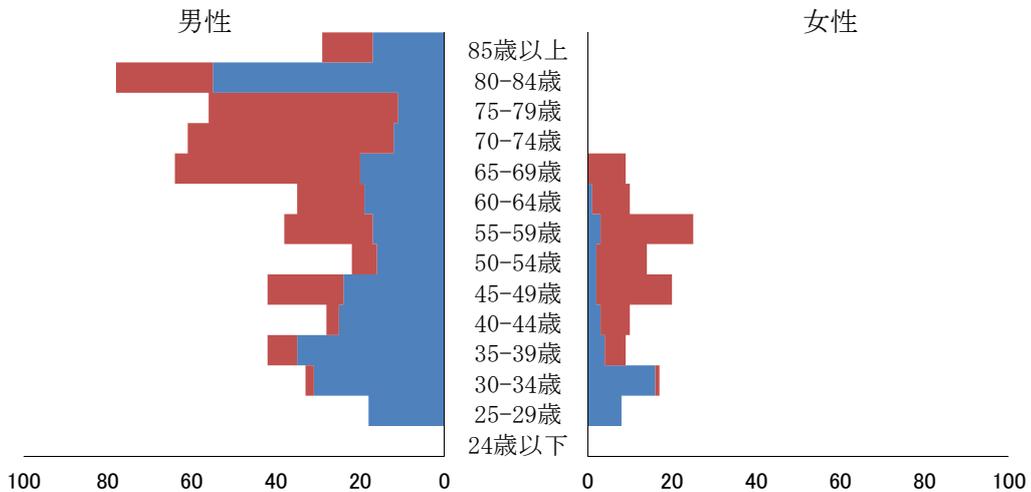
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

富士医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	379,169	362,643	335,802	-43,367	-11%	-16,526	-4%	-26,841	-7%	
医療施設勤務医師数	555	604	629	74	13%	49	9%	25	4%	
人口10万対	146.4	166.6	187.3	40.9	28%	20.2	14%	20.8	12%	
男性医師数	483	526	521	38	8%	43	9%	-5	-1%	
人口10万対	127.4	145.0	155.2	27.8	22%	17.7	14%	10.1	7%	
女性医師数	72	91	119	47	65%	19	26%	28	31%	
人口10万対	19.0	25.1	35.4	16.4	87%	6.1	32%	10.3	41%	
病院勤務医師数	276	320	353	77	28%	44	16%	33	10%	
人口10万対	72.8	88.2	105.1	32.3	44%	15.5	21%	16.9	19%	
診療所勤務医師数	279	318	324	45	16%	39	14%	6	2%	
人口10万対	73.6	87.7	96.5	22.9	31%	14.1	19%	8.8	10%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	78	81	85	7	9%	3	4%	4	5%
	35-49歳	171	138	137	-34	-20%	-33	-19%	-1	-1%
	50-64歳	194	195	151	-43	-22%	1	1%	-44	-23%
	65歳以上	112	190	256	144	129%	78	70%	66	35%
	75歳以上(再掲)	42	72	122	80	190%	30	71%	50	69%
男性	24-34歳	62	65	50	-12	-19%	3	5%	-15	-23%
	35-49歳	143	109	117	-26	-18%	-34	-24%	8	7%
	50-64歳	170	171	117	-53	-31%	1	1%	-54	-32%
	65歳以上	108	181	237	129	119%	73	68%	56	31%
	75歳以上(再掲)	39	71	114	75	192%	32	82%	43	61%
女性	24-34歳	16	16	26	10	63%	0	0%	10	63%
	35-49歳	28	42	32	4	14%	14	50%	-10	-24%
	50-64歳	24	24	45	21	88%	0	0%	21	88%
	65歳以上	4	9	16	12	300%	5	125%	7	78%
	75歳以上(再掲)	3	2	7	4	133%	-1	-33%	5	250%
病院	24-34歳	75	78	82	7	9%	3	4%	4	5%
	35-49歳	105	89	92	-13	-12%	-16	-15%	3	3%
	50-64歳	67	73	57	-10	-15%	6	9%	-16	-22%
	65歳以上	29	80	122	93	321%	51	176%	42	53%
	75歳以上(再掲)	11	52	88	77	700%	41	373%	36	69%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	66	53	54	-12	-18%	-13	-20%	1	2%
	50-64歳	127	117	81	-46	-36%	-10	-8%	-36	-31%
	65歳以上	83	145	186	103	124%	62	75%	41	28%
	75歳以上(再掲)	31	52	86	55	177%	21	68%	34	65%
	85歳以上(再掲)	8	7	12	4	50%	-1	-13%	5	71%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

静岡医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は33,685人(-5%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は329人(26%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は229人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は32%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

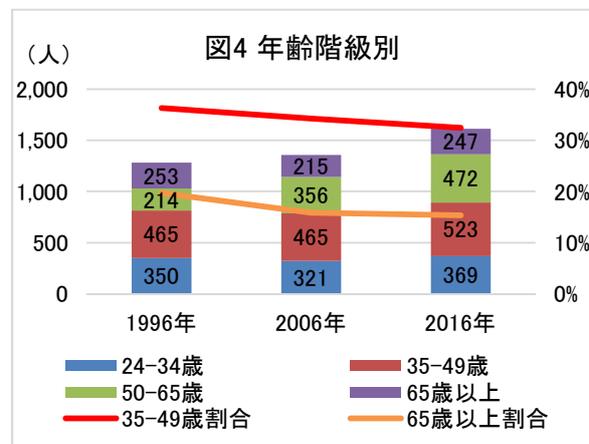
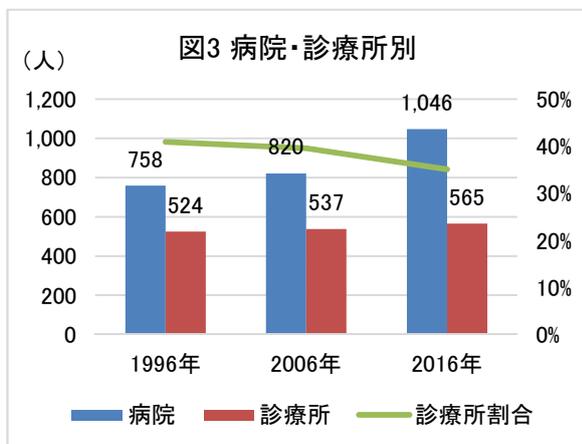
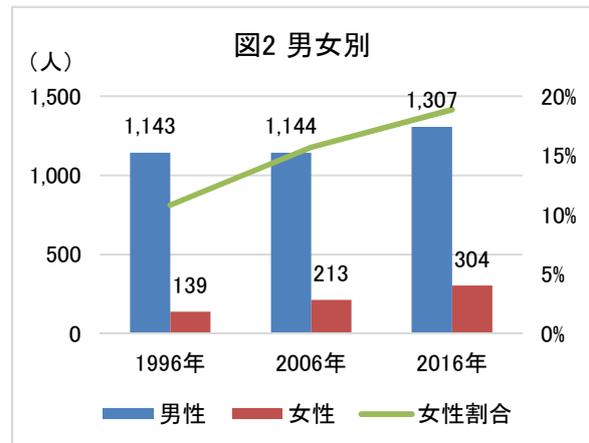
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて164人(14%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に165人(119%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は19%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて288人(38%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に41人(8%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は35%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は58人(12%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて6人(-2%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年20%、2016年15%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

静岡医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	738,674	723,323	704,989	-33,685	-5%	-15,351	-2%	-18,334	-3%	
総医師数	1,324	1,422	1,671	347	26%	98	7%	249	18%	
人口10万対	179.2	196.6	237.0	57.8	32%	17.4	10%	40.4	21%	
医療施設勤務医師数	1,282	1,357	1,611	329	26%	75	6%	254	19%	
人口10万対	173.6	187.6	228.5	55.0	32%	14.1	8%	40.9	22%	
男性医師数	1,143	1,144	1,307	164	14%	1	0%	163	14%	
人口10万対	154.7	158.2	185.4	30.7	20%	3.4	2%	27.2	17%	
女性医師数	139	213	304	165	119%	74	53%	91	43%	
人口10万対	18.8	29.4	43.1	24.3	129%	10.6	56%	13.7	46%	
病院勤務医師数	758	820	1,046	288	38%	62	8%	226	28%	
人口10万対	102.6	113.4	148.4	45.8	45%	10.7	10%	35.0	31%	
診療所勤務医師数	524	537	565	41	8%	13	2%	28	5%	
人口10万対	70.9	74.2	80.1	9.2	13%	3.3	5%	5.9	8%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.6	48.4	48.7	1.1	2%	0.8	2%	0.4	1%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	350	321	369	19	5%	-29	-8%	48	15%
	35-49歳	465	465	523	58	12%	0	0%	58	12%
	50-64歳	214	356	472	258	121%	142	66%	116	33%
	65歳以上	253	215	247	-6	-2%	-38	-15%	32	15%
	75歳以上(再掲)	81	112	90	9	11%	31	38%	-22	-20%
男性	24-34歳	294	224	269	-25	-9%	-70	-24%	45	20%
	35-49歳	425	394	394	-31	-7%	-31	-7%	0	0%
	50-64歳	198	328	413	215	109%	130	66%	85	26%
	65歳以上	226	198	231	5	2%	-28	-12%	33	17%
	75歳以上(再掲)	72	101	84	12	17%	29	40%	-17	-17%
女性	24-34歳	56	97	100	44	79%	41	73%	3	3%
	35-49歳	40	71	129	89	223%	31	78%	58	82%
	50-64歳	16	28	59	43	269%	12	75%	31	111%
	65歳以上	27	17	16	-11	-41%	-10	-37%	-1	-6%
	75歳以上(再掲)	9	11	6	-3	-33%	2	22%	-5	-45%
病院	24-34歳	335	313	365	30	9%	-22	-7%	52	17%
	35-49歳	305	315	406	101	33%	10	3%	91	29%
	50-64歳	88	154	207	119	135%	66	75%	53	34%
	65歳以上	30	38	68	38	127%	8	27%	30	79%
	75歳以上(再掲)	5	11	20	15	300%	6	120%	9	82%
診療所	24-34歳	15	8	4	-11	-73%	-7	-47%	-4	-50%
	35-49歳	160	150	117	-43	-27%	-10	-6%	-33	-22%
	50-64歳	126	202	265	139	110%	76	60%	63	31%
	65歳以上	223	177	179	-44	-20%	-46	-21%	2	1%
	75歳以上(再掲)	76	101	70	-6	-8%	25	33%	-31	-31%
	85歳以上(再掲)	12	17	24	12	100%	5	42%	7	41%

静岡医療圏

＜医師数の推移＞

静岡医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児外科、心臓血管外科、臨床研修医であり、少ない診療科は、放射線科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、脳神経外科、眼科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、小児外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,282	173.6	49	1,357	187.6	48	1,611	228.5	49	329	26%	55.0	32%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	474	64.2	47	461	63.7	45	533	75.6	46	59	12%	11.4	18%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	116	15.7	61	123	17.0	62	101	14.3	52	-15	-13%	-1.4	-9%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	45	6.1	45	48	6.6	43	76	10.8	47	31	69%	4.7	77%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	141	19.1	48	111	15.3	46	122	17.3	48	-19	-13%	-1.8	-9%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	2	0.3	47	8	1.1	60	8	1.1	58	6	300%	0.9	319%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	20	2.7	57	24	3.3	58	31	4.4	61	11	55%	1.7	62%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	40	5.4	54	29	4.0	46	36	5.1	47	-4	-10%	-0.3	-6%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	88	11.9	48	93	12.9	46	102	14.5	46	14	16%	2.6	21%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	12	1.6	55	12	1.7	51	16	2.3	51	4	33%	0.6	40%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	36	4.9	48	39	5.4	48	41	5.8	46	5	14%	0.9	19%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	64	8.7	50	63	8.7	48	62	8.8	46	-2	-3%	0.1	2%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	55	7.4	51	56	7.7	52	56	7.9	52	1	2%	0.5	7%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	30	4.1	50	31	4.3	48	35	5.0	48	5	17%	0.9	22%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	72	9.7	50	64	8.8	49	78	11.1	52	6	8%	1.3	14%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	9	1.2	57	16	2.2	56	14	2.0	50	5	56%	0.8	63%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	14	1.9	45	16	2.2	45	15	2.1	42	1	7%	0.2	12%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	30	4.1	50	32	4.4	49	43	6.1	48	13	43%	2.0	50%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.1	41	17	2.4	49	16	1600%	2.3	1644%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				81	11.2	50	131	18.6	56	131	62%	7.4	66%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	34	4.6	50	49	6.8	53	94	13.3	60	60	176%	8.7	190%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

静岡医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は113,668人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は484人(30%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は354人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は55%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

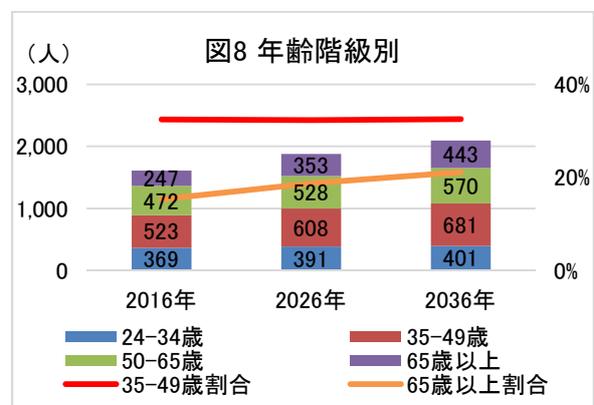
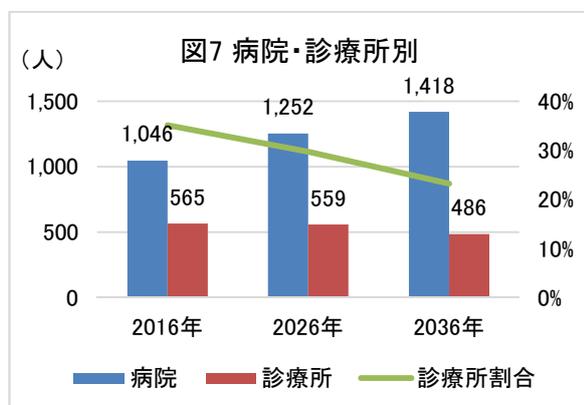
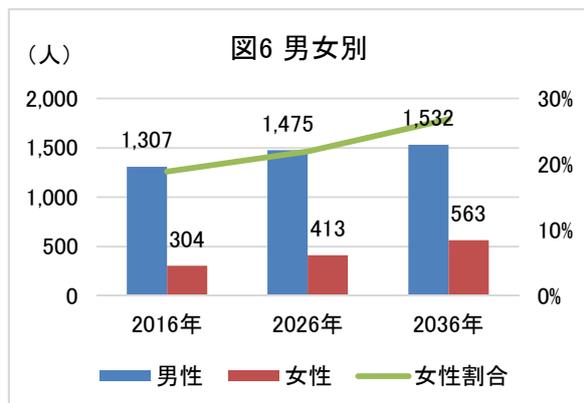
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて225人(17%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に259人(85%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は27%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて372人(36%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に79人(-14%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は158人(30%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて196人(79%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年15%、2036年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



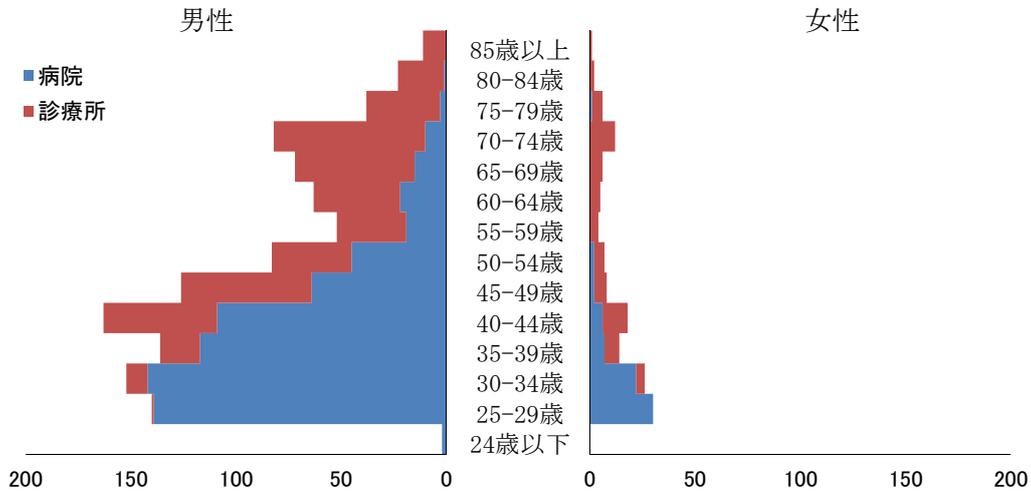
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

静岡医療圏

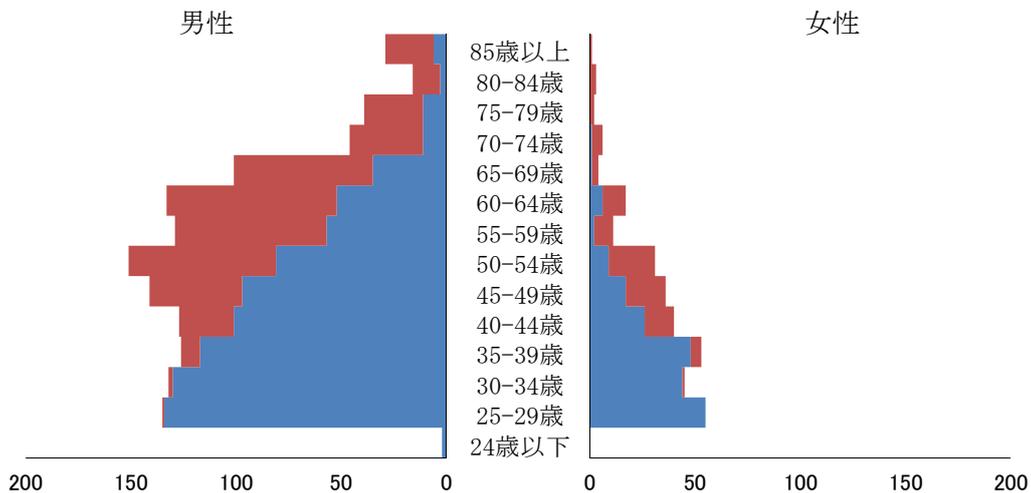
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

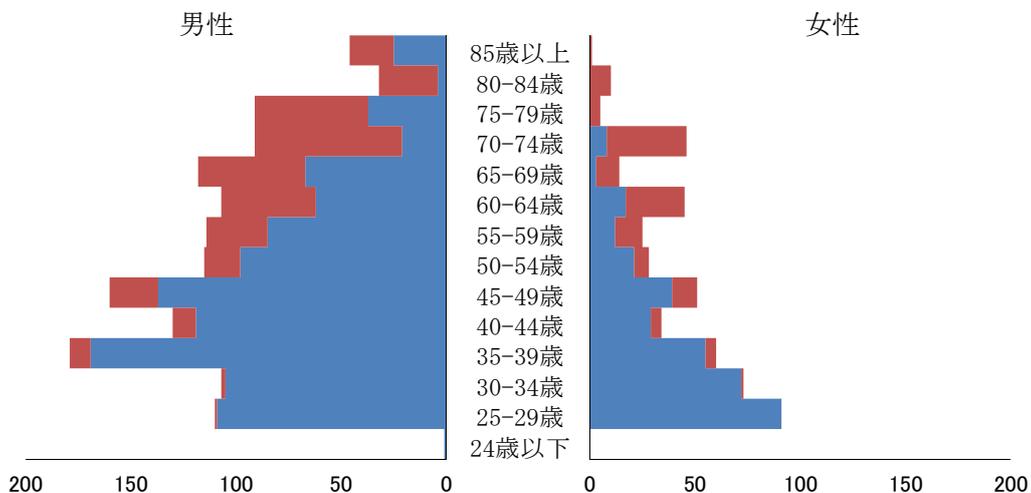
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

静岡医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	704,989	652,514	591,321	-113,668	-16%	-52,475	-7%	-61,193	-9%	
医療施設勤務医師数	1,611	1,880	2,095	484	30%	269	17%	215	11%	
人口10万対	228.5	288.1	354.3	125.8	55%	59.6	26%	66.2	23%	
男性医師数	1,307	1,475	1,532	225	17%	168	13%	57	4%	
人口10万対	185.4	226.0	259.1	73.7	40%	40.7	22%	33.0	15%	
女性医師数	304	413	563	259	85%	109	36%	150	36%	
人口10万対	43.1	63.3	95.2	52.1	121%	20.2	47%	31.9	50%	
病院勤務医師数	1,046	1,252	1,418	372	36%	206	20%	166	13%	
人口10万対	148.4	191.9	239.8	91.4	62%	43.5	29%	47.9	25%	
診療所勤務医師数	565	559	486	-79	-14%	-6	-1%	-73	-13%	
人口10万対	80.1	85.7	82.2	2.0	3%	5.5	7%	-3.5	-4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	369	391	401	32	9%	22	6%	10	3%
	35-49歳	523	608	681	158	30%	85	16%	73	12%
	50-64歳	472	528	570	98	21%	56	12%	42	8%
	65歳以上	247	353	443	196	79%	106	43%	90	25%
	75歳以上(再掲)	90	127	171	81	90%	37	41%	44	35%
男性	24-34歳	269	284	219	-50	-19%	15	6%	-65	-23%
	35-49歳	394	450	517	123	31%	56	14%	67	15%
	50-64歳	413	418	420	7	2%	5	1%	2	0%
	65歳以上	231	323	376	145	63%	92	40%	53	16%
	75歳以上(再掲)	84	119	156	72	86%	35	42%	37	31%
女性	24-34歳	100	106	164	64	64%	6	6%	58	55%
	35-49歳	129	162	171	42	33%	33	26%	9	6%
	50-64歳	59	109	150	91	154%	50	85%	41	38%
	65歳以上	16	36	78	62	388%	20	125%	42	117%
	75歳以上(再掲)	6	10	22	16	267%	4	67%	12	120%
病院	24-34歳	365	386	397	32	9%	21	6%	11	3%
	35-49歳	406	491	546	140	34%	85	21%	55	11%
	50-64歳	207	263	311	104	50%	56	27%	48	18%
	65歳以上	68	112	164	96	141%	44	65%	52	46%
	75歳以上(再掲)	20	42	66	46	230%	22	110%	24	57%
診療所	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	117	64	65	-52	-44%	-53	-45%	1	2%
	50-64歳	265	241	135	-130	-49%	-24	-9%	-106	-44%
	65歳以上	179	250	282	103	58%	71	40%	32	13%
	75歳以上(再掲)	70	89	116	46	66%	19	27%	27	30%
	85歳以上(再掲)	24	17	21	-3	-13%	-7	-29%	4	24%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

志太榛原医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は7,179人(-2%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は132人(23%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は155人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は25%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

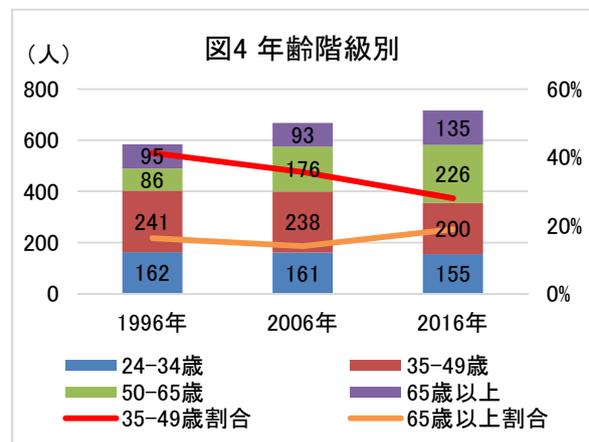
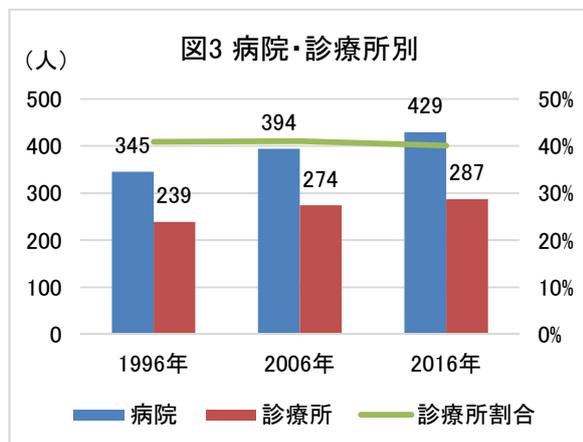
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて80人(15%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に52人(85%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて84人(24%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に48人(20%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は40%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は41人(-17%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて40人(42%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年19%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

志太榛原医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	470,190	475,434	463,011	-7,179	-2%	5,244	1%	-12,423	-3%	
総医師数	590	690	735	145	25%	100	17%	45	7%	
人口10万対	125.5	145.1	158.7	33.3	27%	19.6	16%	13.6	9%	
医療施設勤務医師数	584	668	716	132	23%	84	14%	48	7%	
人口10万対	124.2	140.5	154.6	30.4	25%	16.3	13%	14.1	10%	
男性医師数	523	586	603	80	15%	63	12%	17	3%	
人口10万対	111.2	123.3	130.2	19.0	17%	12.0	11%	7.0	6%	
女性医師数	61	82	113	52	85%	21	34%	31	38%	
人口10万対	13.0	17.2	24.4	11.4	88%	4.3	33%	7.2	42%	
病院勤務医師数	345	394	429	84	24%	49	14%	35	9%	
人口10万対	73.4	82.9	92.7	19.3	26%	9.5	13%	9.8	12%	
診療所勤務医師数	239	274	287	48	20%	35	15%	13	5%	
人口10万対	50.8	57.6	62.0	11.2	22%	6.8	13%	4.4	8%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.0	47.5	50.2	4.2	9%	1.5	3%	2.7	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	162	161	155	-7	-4%	-1	-1%	-6	-4%
	35-49歳	241	238	200	-41	-17%	-3	-1%	-38	-16%
	50-64歳	86	176	226	140	163%	90	105%	50	28%
	65歳以上	95	93	135	40	42%	-2	-2%	42	45%
	75歳以上(再掲)	26	40	38	12	46%	14	54%	-2	-5%
男性	24-34歳	137	125	119	-18	-13%	-12	-9%	-6	-5%
	35-49歳	215	211	160	-55	-26%	-4	-2%	-51	-24%
	50-64歳	82	160	195	113	138%	78	95%	35	22%
	65歳以上	89	90	129	40	45%	1	1%	39	43%
	75歳以上(再掲)	22	39	36	14	64%	17	77%	-3	-8%
女性	24-34歳	25	36	36	11	44%	11	44%	0	0%
	35-49歳	26	27	40	14	54%	1	4%	13	48%
	50-64歳	4	16	31	27	675%	12	300%	15	94%
	65歳以上	6	3	6	0	0%	-3	-50%	3	100%
	75歳以上(再掲)	4	1	2	-2	-50%	-3	-75%	1	100%
病院	24-34歳	155	159	152	-3	-2%	4	3%	-7	-4%
	35-49歳	155	164	140	-15	-10%	9	6%	-24	-15%
	50-64歳	24	54	95	71	296%	30	125%	41	76%
	65歳以上	11	17	42	31	282%	6	55%	25	147%
	75歳以上(再掲)	1	2	10	9	900%	1	100%	8	400%
診療所	24-34歳	7	2	3	-4	-57%	-5	-71%	1	50%
	35-49歳	86	74	60	-26	-30%	-12	-14%	-14	-19%
	50-64歳	62	122	131	69	111%	60	97%	9	7%
	65歳以上	84	76	93	9	11%	-8	-10%	17	22%
	75歳以上(再掲)	25	38	28	3	12%	13	52%	-10	-26%
	85歳以上(再掲)	2	4	9	7	350%	2	100%	5	125%

志太榛原医療圏

＜医師数の推移＞

志太榛原医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	584	124.2	43	668	140.5	42	716	154.6	40	132	23%	30.4	25%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	235	50.0	42	249	52.4	41	259	55.9	39	24	10%	6.0	12%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	37	7.9	43	45	9.5	45	46	9.9	44	9	24%	2.1	26%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	19	4.0	40	19	4.0	37	26	5.6	38	7	37%	1.6	39%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	67	14.2	43	61	12.8	42	53	11.4	40	-14	-21%	-2.8	-20%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.2	46	1	0.2	45	1	0.2	44	0	0%	0.0	2%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	2	0.4	41	6	1.3	43	6		1.3	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	25	5.3	53	25	5.3	52	28	6.0	51	3	12%	0.7	14%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	41	8.7	41	50	10.5	41	49	10.6	38	8	20%	1.9	21%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	6	1.3	52	10	2.1	54	11	2.4	52	5	83%	1.1	86%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	18	3.8	45	22	4.6	45	20	4.3	42	2	11%	0.5	13%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	32	6.8	46	26	5.5	40	25	5.4	38	-7	-22%	-1.4	-21%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	23	4.9	44	25	5.3	45	20	4.3	40	-3	-13%	-0.6	-12%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	19	4.0	50	22	4.6	49	27	5.8	51	8	42%	1.8	44%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	29	6.2	41	28	5.9	41	24	5.2	39	-5	-17%	-1.0	-16%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.4	46	14	2.9	62	8	1.7	49	6	300%	1.3	306%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	11	2.3	47	5	1.1	41	8	1.7	41	-3	-27%	-0.6	-26%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	16	3.4	48	10	2.1	42	13	2.8	40	-3	-19%	-0.6	-17%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	5	1.1	43	5		1.1	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				45	9.5	48	56	12.1	49	56	24%	2.6	28%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	0.6	42	9	1.9	44	31	6.7	49	28	933%	6.1	949%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

志太榛原医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は59,194人(-13%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は60人(8%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は192人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

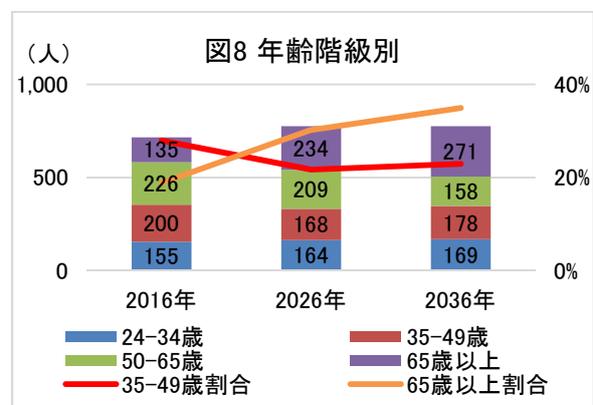
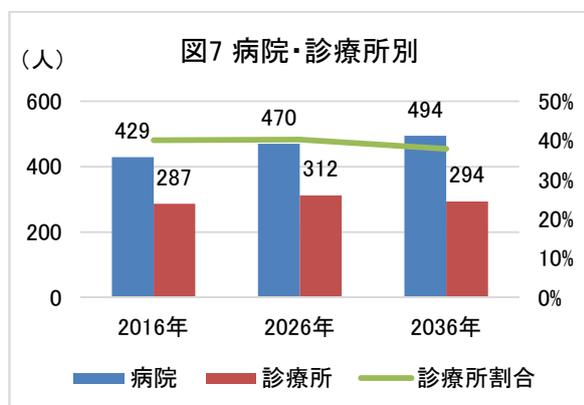
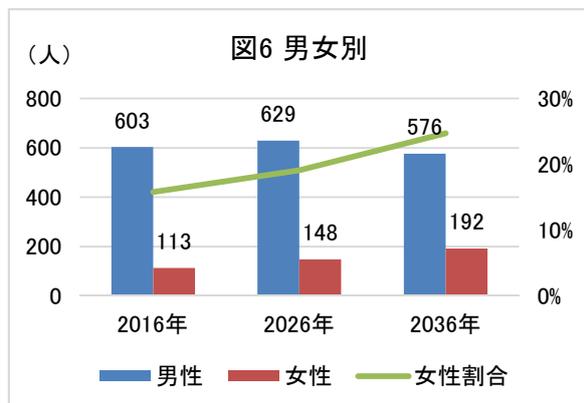
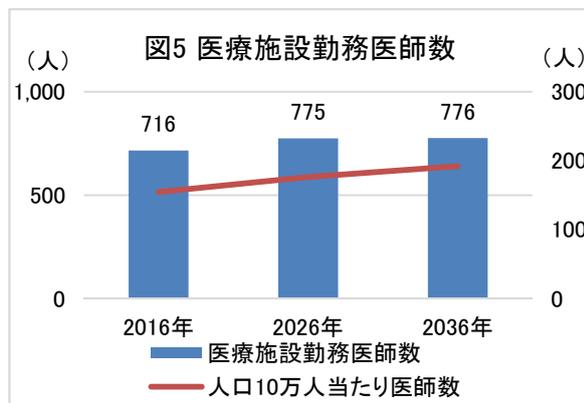
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて27人(-4%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に79人(70%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は25%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて65人(15%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に7人(2%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は38%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は22人(-11%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて136人(101%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年35%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



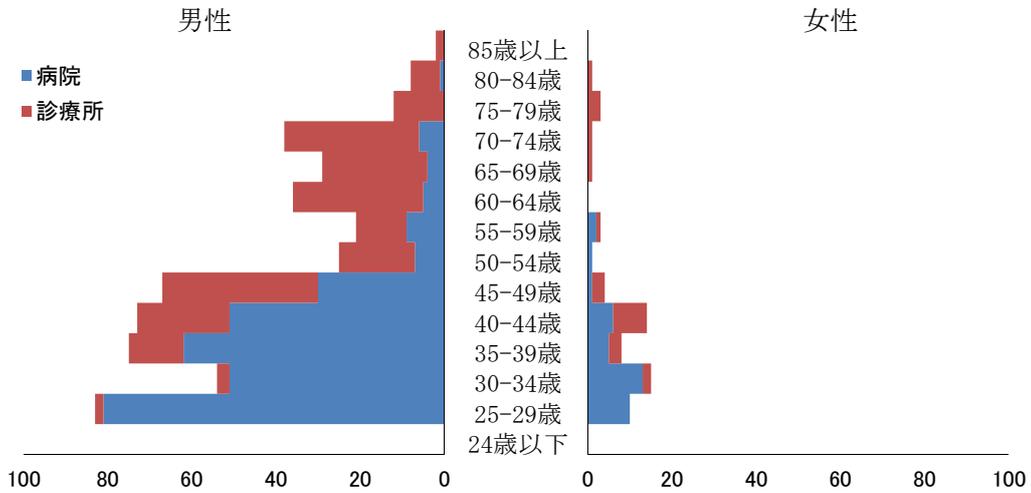
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

志太榛原医療圏

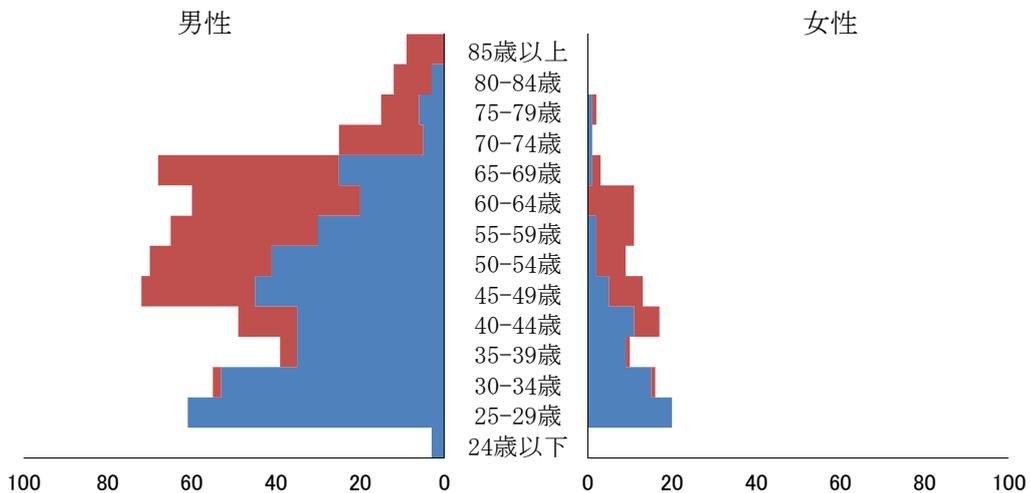
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

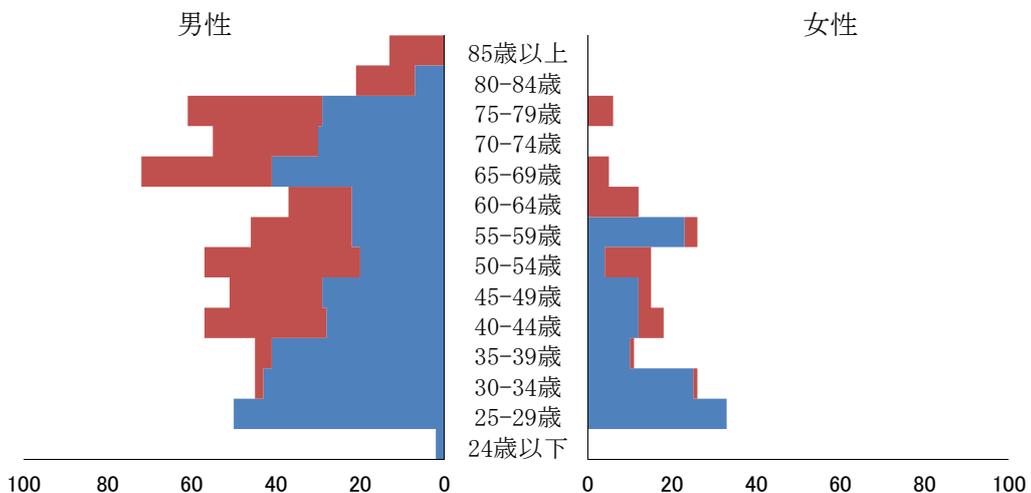
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

志太榛原医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	463,011	438,727	403,817	-59,194	-13%	-24,284	-5%	-34,910	-8%	
医療施設勤務医師数	716	775	776	60	8%	59	8%	1	0%	
人口10万対	154.6	176.6	192.2	37.5	24%	22.0	14%	15.5	9%	
男性医師数	603	629	576	-27	-4%	26	4%	-53	-8%	
人口10万対	130.2	143.4	142.6	12.4	10%	13.1	10%	-0.7	-1%	
女性医師数	113	148	192	79	70%	35	31%	44	30%	
人口10万対	24.4	33.7	47.5	23.1	95%	9.3	38%	13.8	41%	
病院勤務医師数	429	470	494	65	15%	41	10%	24	5%	
人口10万対	92.7	107.1	122.3	29.7	32%	14.5	16%	15.2	14%	
診療所勤務医師数	287	312	294	7	2%	25	9%	-18	-6%	
人口10万対	62.0	71.1	72.8	10.8	17%	9.1	15%	1.7	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	155	164	169	14	9%	9	6%	5	3%
	35-49歳	200	168	178	-22	-11%	-32	-16%	10	6%
	50-64歳	226	209	158	-68	-30%	-17	-8%	-51	-24%
	65歳以上	135	234	271	136	101%	99	73%	37	16%
	75歳以上(再掲)	38	82	115	77	203%	44	116%	33	40%
男性	24-34歳	119	125	96	-23	-19%	6	5%	-29	-23%
	35-49歳	160	127	134	-26	-16%	-33	-21%	7	6%
	50-64歳	195	171	114	-81	-42%	-24	-12%	-57	-33%
	65歳以上	129	206	232	103	80%	77	60%	26	13%
	75歳以上(再掲)	36	77	100	64	178%	41	114%	23	30%
女性	24-34歳	36	38	59	23	64%	2	6%	21	55%
	35-49歳	40	48	50	10	25%	8	20%	2	4%
	50-64歳	31	37	50	19	61%	6	19%	13	35%
	65歳以上	6	25	33	27	450%	19	317%	8	32%
	75歳以上(再掲)	2	3	11	9	450%	1	50%	8	267%
病院	24-34歳	152	161	165	13	9%	9	6%	4	2%
	35-49歳	140	121	129	-11	-8%	-19	-14%	8	7%
	50-64歳	95	107	81	-14	-15%	12	13%	-26	-24%
	65歳以上	42	81	119	77	183%	39	93%	38	47%
	75歳以上(再掲)	10	26	40	30	300%	16	160%	14	54%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	60	57	58	-2	-3%	-3	-5%	1	2%
	50-64歳	131	99	90	-41	-31%	-32	-24%	-9	-9%
	65歳以上	93	153	143	50	54%	60	65%	-10	-7%
	75歳以上(再掲)	28	55	71	43	154%	27	96%	16	29%
	85歳以上(再掲)	9	7	13	4	44%	-2	-22%	6	86%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中東遠医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は15,028人(3%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は219人(47%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は146人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は43%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

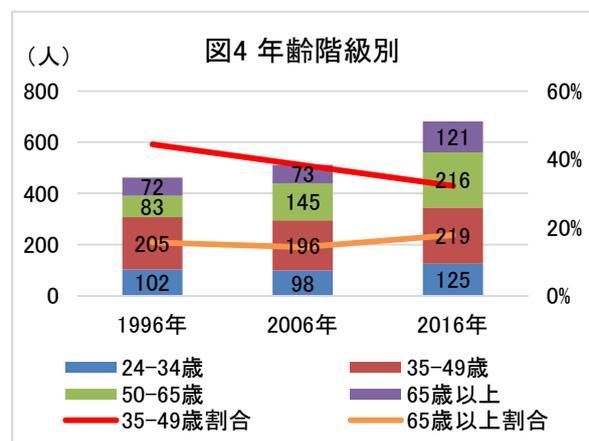
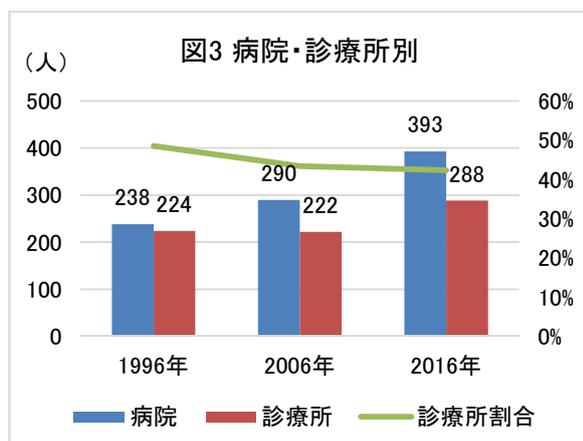
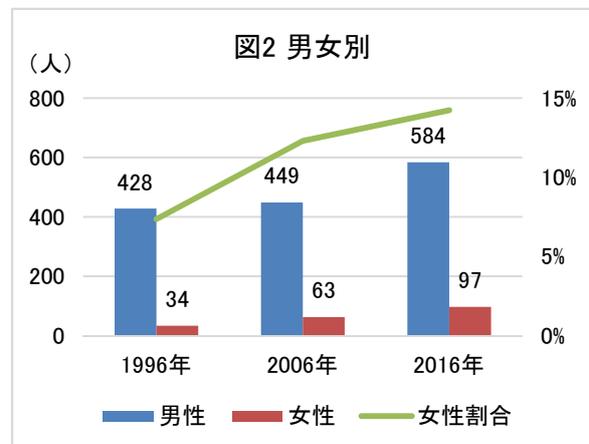
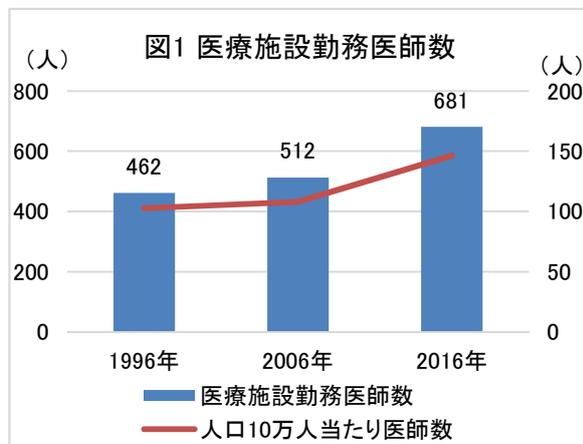
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて156人(36%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に63人(185%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて155人(65%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に64人(29%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は42%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は14人(7%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて49人(68%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年18%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

中東遠医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	450,442	474,794	465,470	15,028	3%	24,352	5%	-9,324	-2%	
総医師数	473	539	709	236	50%	66	14%	170	32%	
人口10万対	105.0	113.5	152.3	47.3	45%	8.5	8%	38.8	34%	
医療施設勤務医師数	462	512	681	219	47%	50	11%	169	33%	
人口10万対	102.6	107.8	146.3	43.7	43%	5.3	5%	38.5	36%	
男性医師数	428	449	584	156	36%	21	5%	135	30%	
人口10万対	95.0	94.6	125.5	30.4	32%	-0.5	0%	30.9	33%	
女性医師数	34	63	97	63	185%	29	85%	34	54%	
人口10万対	7.5	13.3	20.8	13.3	176%	5.7	76%	7.6	57%	
病院勤務医師数	238	290	393	155	65%	52	22%	103	36%	
人口10万対	52.8	61.1	84.4	31.6	60%	8.2	16%	23.4	38%	
診療所勤務医師数	224	222	288	64	29%	-2	-1%	66	30%	
人口10万対	49.7	46.8	61.9	12.1	24%	-3.0	-6%	15.1	32%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.1	48.7	50.4	3.3	7%	1.6	3%	1.7	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	102	98	125	23	23%	-4	-4%	27	28%
	35-49歳	205	196	219	14	7%	-9	-4%	23	12%
	50-64歳	83	145	216	133	160%	62	75%	71	49%
	65歳以上	72	73	121	49	68%	1	1%	48	66%
	75歳以上(再掲)	24	26	43	19	79%	2	8%	17	65%
男性	24-34歳	93	79	96	3	3%	-14	-15%	17	22%
	35-49歳	192	168	178	-14	-7%	-24	-13%	10	6%
	50-64歳	78	135	195	117	150%	57	73%	60	44%
	65歳以上	65	67	115	50	77%	2	3%	48	72%
	75歳以上(再掲)	20	23	42	22	110%	3	15%	19	83%
女性	24-34歳	9	19	29	20	222%	10	111%	10	53%
	35-49歳	13	28	41	28	215%	15	115%	13	46%
	50-64歳	5	10	21	16	320%	5	100%	11	110%
	65歳以上	7	6	6	-1	-14%	-1	-14%	0	0%
	75歳以上(再掲)	4	3	1	-3	-75%	-1	-25%	-2	-67%
病院	24-34歳	98	96	120	22	22%	-2	-2%	24	25%
	35-49歳	116	131	142	26	22%	15	13%	11	8%
	50-64歳	19	50	99	80	421%	31	163%	49	98%
	65歳以上	5	13	32	27	540%	8	160%	19	146%
	75歳以上(再掲)	0	4	10	10		4		6	150%
診療所	24-34歳	4	2	5	1	25%	-2	-50%	3	150%
	35-49歳	89	65	77	-12	-13%	-24	-27%	12	18%
	50-64歳	64	95	117	53	83%	31	48%	22	23%
	65歳以上	67	60	89	22	33%	-7	-10%	29	48%
	75歳以上(再掲)	24	22	33	9	38%	-2	-8%	11	50%
	85歳以上(再掲)	2	4	6	4	200%	2	100%	2	50%

中東遠医療圏

＜医師数の推移＞

中東遠医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、脳神経外科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、皮膚科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	462	102.6	40	512	107.8	38	681	146.3	40	219	47%	43.7	43%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	200	44.4	41	206	43.4	38	260	55.9	39	60	30%	11.5	26%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	30	6.7	40	28	5.9	37	32	6.9	38	2	7%	0.2	3%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	17	3.8	39	25	5.3	40	40	8.6	43	23	135%	4.8	128%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	46	10.2	38	42	8.8	37	48	10.3	38	2	4%	0.1	1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	1	0.2	44	1		0.2	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.2	41	0	0.0	38	1	0.2	37	0	0%	-0.0	-3%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	19	4.2	49	18	3.8	45	17	3.7	42	-2	-11%	-0.6	-13%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	37	8.2	40	42	8.8	38	55	11.8	41	18	49%	3.6	44%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	3	0.6	41	3		0.6	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	11	2.4	41	15	3.2	41	17	3.7	40	6	55%	1.2	50%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	26	5.8	44	24	5.1	39	29	6.2	40	3	12%	0.5	8%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	21	4.7	43	19	4.0	41	22	4.7	42	1	5%	0.1	1%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	14	3.1	46	16	3.4	44	19	4.1	44	5	36%	1.0	31%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	20	4.4	37	23	4.8	39	32	6.9	42	12	60%	2.4	55%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.2	43	2	0.4	42	4	0.9	43	3	300%	0.6	287%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	0.4	41	6	1.3	41	15	3.2	45	13	650%	2.8	626%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	0.4	39	10	2.1	42	19	4.1	43	17	850%	3.6	819%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				2	0.4	43	7	1.5	45	5	250%	1.1	257%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				24	5.1	43	42	9.0	46	42	75%	4.0	79%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	15	3.3	48	10	2.1	44	18	3.9	44	3	20%	0.5	16%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

中東遠医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は53,186人(-11%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は311人(46%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は241人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は64%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

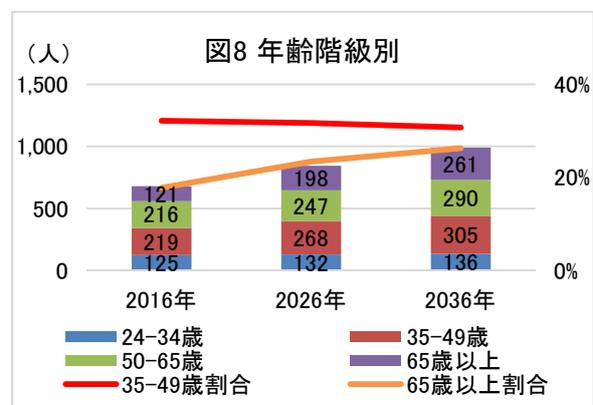
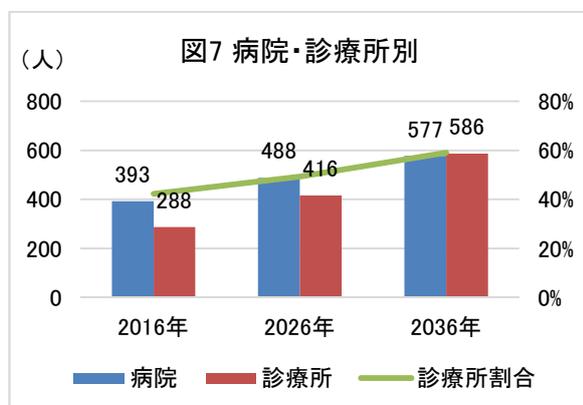
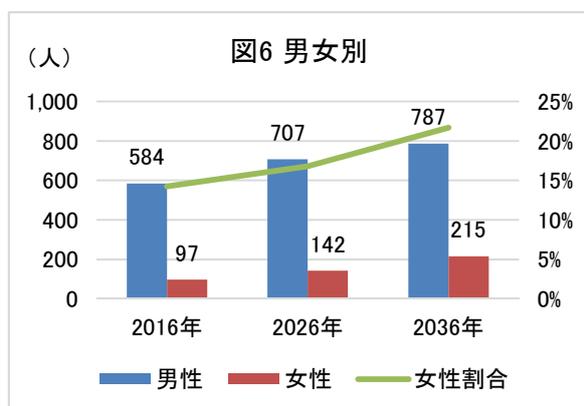
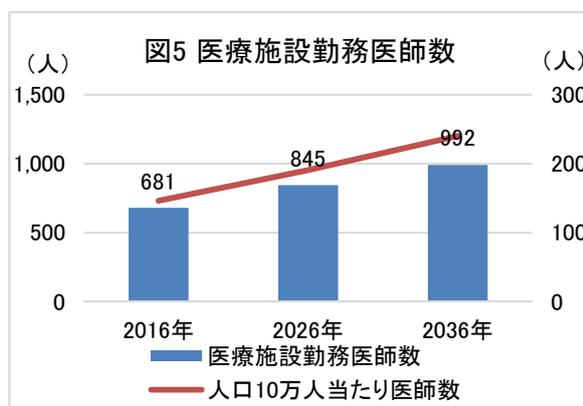
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて203人(35%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に118人(122%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は22%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて184人(47%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に298人(103%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は59%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は86人(39%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて140人(116%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



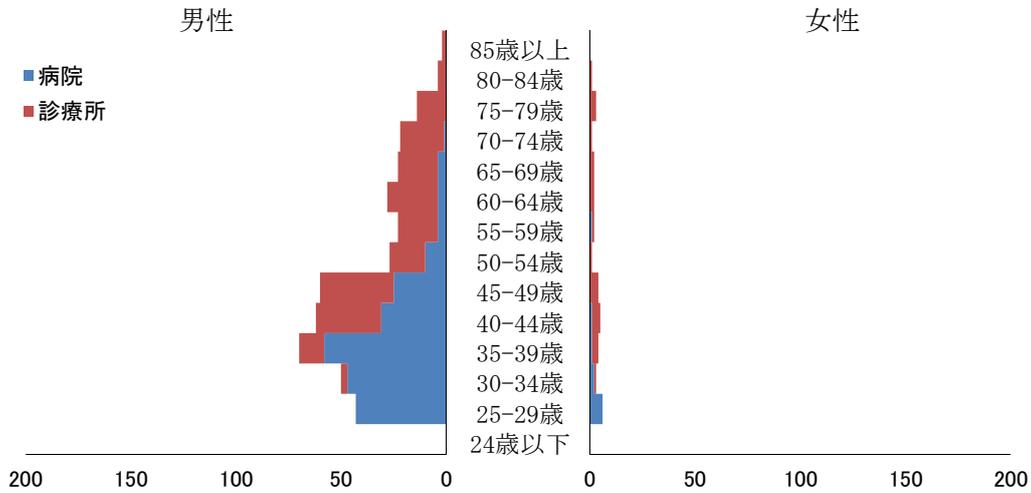
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中東遠医療圏

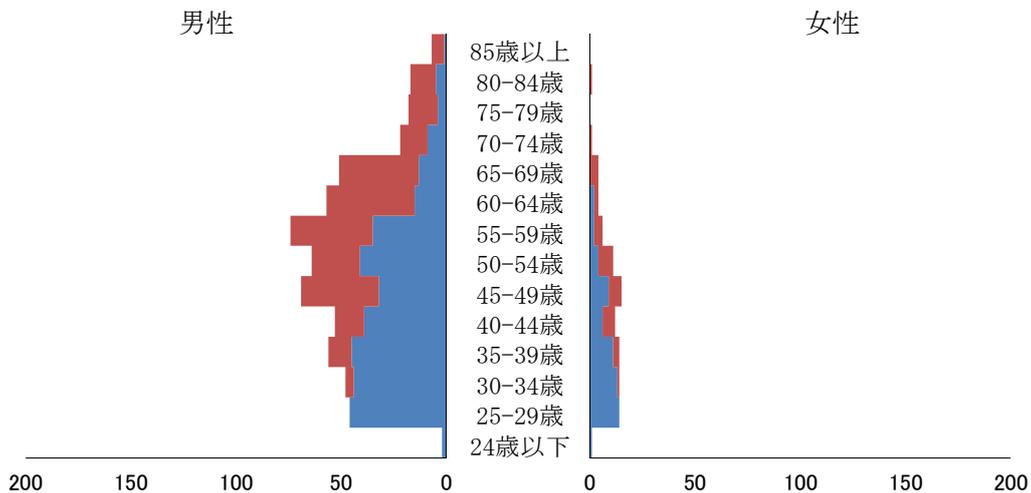
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

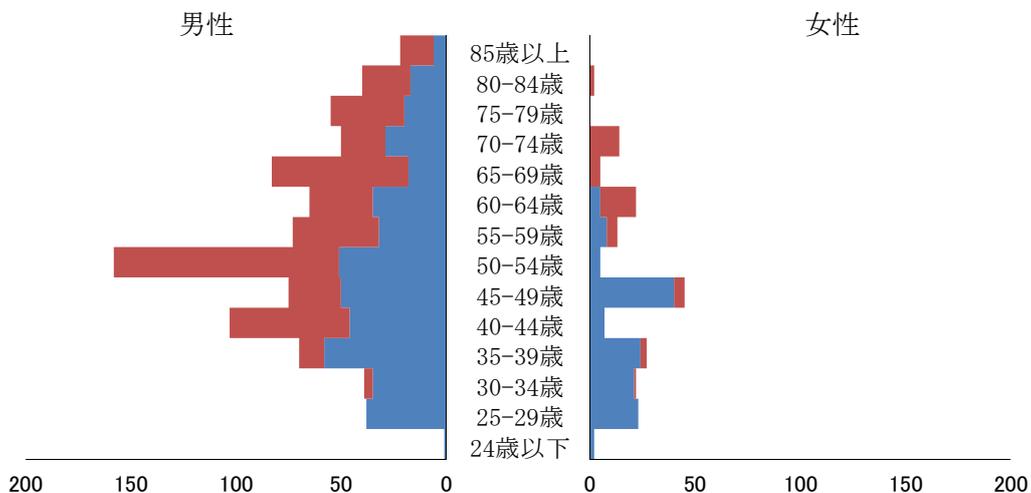
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中東遠医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	465,470	442,880	412,284	-53,186	-11%	-22,590	-5%	-30,596	-7%	
医療施設勤務医師数	681	845	992	311	46%	164	24%	147	17%	
人口10万対	146.3	190.8	240.6	94.3	64%	44.5	30%	49.8	26%	
男性医師数	584	707	787	203	35%	123	21%	80	11%	
人口10万対	125.5	159.6	190.9	65.4	52%	34.2	27%	31.3	20%	
女性医師数	97	142	215	118	122%	45	46%	73	51%	
人口10万対	20.8	32.1	52.1	31.3	150%	11.2	54%	20.1	63%	
病院勤務医師数	393	488	577	184	47%	95	24%	89	18%	
人口10万対	84.4	110.2	140.0	55.5	66%	25.8	31%	29.8	27%	
診療所勤務医師数	288	416	586	298	103%	128	44%	170	41%	
人口10万対	61.9	93.9	142.1	80.3	130%	32.1	52%	48.2	51%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	125	132	136	11	9%	7	6%	4	3%
	35-49歳	219	268	305	86	39%	49	22%	37	14%
	50-64歳	216	247	290	74	34%	31	14%	43	17%
	65歳以上	121	198	261	140	116%	77	64%	63	32%
	75歳以上(再掲)	43	71	116	73	170%	28	65%	45	63%
男性	24-34歳	96	101	78	-18	-19%	5	5%	-23	-23%
	35-49歳	178	206	226	48	27%	28	16%	20	10%
	50-64歳	195	209	241	46	24%	14	7%	32	15%
	65歳以上	115	191	242	127	110%	76	66%	51	27%
	75歳以上(再掲)	42	72	117	75	179%	30	71%	45	63%
女性	24-34歳	29	30	48	19	66%	1	3%	18	60%
	35-49歳	41	65	92	51	124%	24	59%	27	42%
	50-64歳	21	38	49	28	133%	17	81%	11	29%
	65歳以上	6	9	26	20	333%	3	50%	17	189%
	75歳以上(再掲)	1	1	4	3	300%	0	0%	3	300%
病院	24-34歳	120	126	130	10	8%	6	5%	4	3%
	35-49歳	142	183	210	68	48%	41	29%	27	15%
	50-64歳	99	115	139	40	40%	16	16%	24	21%
	65歳以上	32	64	98	66	206%	32	100%	34	53%
	75歳以上(再掲)	10	24	45	35	350%	14	140%	21	88%
診療所	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	77	144	148	71	92%	67	87%	4	3%
	50-64歳	117	136	263	146	125%	19	16%	127	93%
	65歳以上	89	131	170	81	91%	42	47%	39	30%
	75歳以上(再掲)	33	50	72	39	118%	17	52%	22	44%
	85歳以上(再掲)	6	9	14	8	133%	3	50%	5	56%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は30,223人(4%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は518人(33%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は244人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

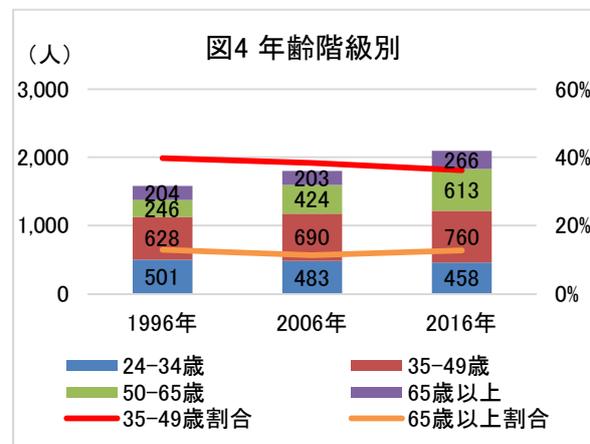
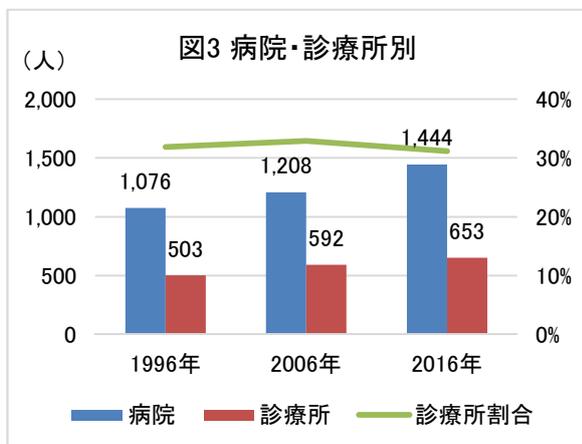
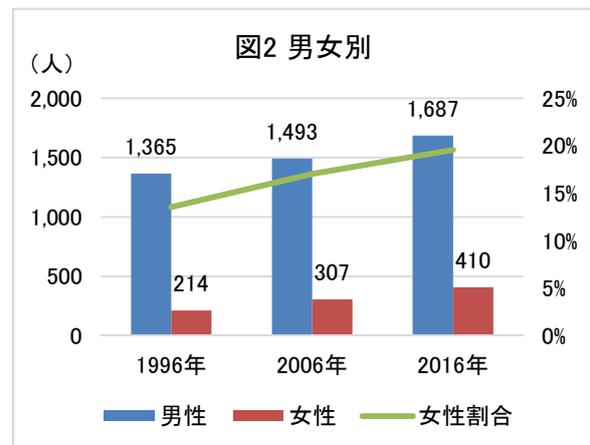
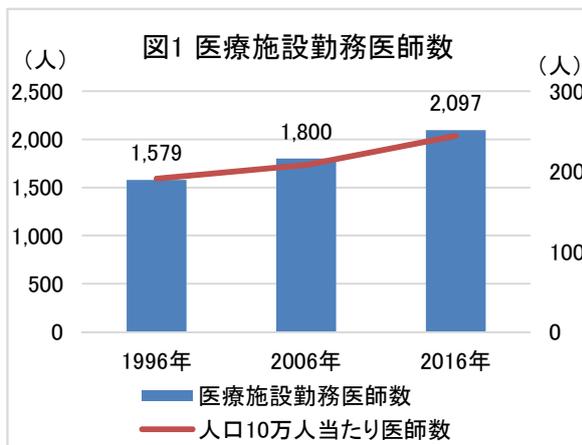
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて322人(24%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に196人(92%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は20%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて368人(34%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に150人(30%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は132人(21%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて62人(30%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年13%、2016年13%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

西部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	827,546	865,026	857,769	30,223	4%	37,480	5%	-7,257	-1%	
総医師数	1,661	1,886	2,198	537	32%	225	14%	312	17%	
人口10万対	200.7	218.0	256.2	55.5	28%	17.3	9%	38.2	18%	
医療施設勤務医師数	1,579	1,800	2,097	518	33%	221	14%	297	17%	
人口10万対	190.8	208.1	244.5	53.7	28%	17.3	9%	36.4	17%	
男性医師数	1,365	1,493	1,687	322	24%	128	9%	194	13%	
人口10万対	164.9	172.6	196.7	31.7	19%	7.7	5%	24.1	14%	
女性医師数	214	307	410	196	92%	93	43%	103	34%	
人口10万対	25.9	35.5	47.8	21.9	85%	9.6	37%	12.3	35%	
病院勤務医師数	1,076	1,208	1,444	368	34%	132	12%	236	20%	
人口10万対	130.0	139.6	168.3	38.3	29%	9.6	7%	28.7	21%	
診療所勤務医師数	503	592	653	150	30%	89	18%	61	10%	
人口10万対	60.8	68.4	76.1	15.3	25%	7.7	13%	7.7	11%	
医療施設勤務医 平均年齢	44.6	45.9	48.0	3.4	8%	1.3	3%	2.1	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	501	483	458	-43	-9%	-18	-4%	-25	-5%
	35-49歳	628	690	760	132	21%	62	10%	70	10%
	50-64歳	246	424	613	367	149%	178	72%	189	45%
	65歳以上	204	203	266	62	30%	-1	0%	63	31%
	75歳以上(再掲)	63	92	78	15	24%	29	46%	-14	-15%
男性	24-34歳	386	337	329	-57	-15%	-49	-13%	-8	-2%
	35-49歳	564	582	577	13	2%	18	3%	-5	-1%
	50-64歳	234	384	532	298	127%	150	64%	148	39%
	65歳以上	181	190	249	68	38%	9	5%	59	31%
	75歳以上(再掲)	53	85	74	21	40%	32	60%	-11	-13%
女性	24-34歳	115	146	129	14	12%	31	27%	-17	-12%
	35-49歳	64	108	183	119	186%	44	69%	75	69%
	50-64歳	12	40	81	69	575%	28	233%	41	103%
	65歳以上	23	13	17	-6	-26%	-10	-43%	4	31%
	75歳以上(再掲)	10	7	4	-6	-60%	-3	-30%	-3	-43%
病院	24-34歳	485	462	450	-35	-7%	-23	-5%	-12	-3%
	35-49歳	460	519	626	166	36%	59	13%	107	21%
	50-64歳	91	186	310	219	241%	95	104%	124	67%
	65歳以上	40	41	58	18	45%	1	2%	17	41%
	75歳以上(再掲)	9	15	13	4	44%	6	67%	-2	-13%
診療所	24-34歳	16	21	8	-8	-50%	5	31%	-13	-62%
	35-49歳	168	171	134	-34	-20%	3	2%	-37	-22%
	50-64歳	155	238	303	148	95%	83	54%	65	27%
	65歳以上	164	162	208	44	27%	-2	-1%	46	28%
	75歳以上(再掲)	54	77	65	11	20%	23	43%	-12	-16%
	85歳以上(再掲)	10	13	16	6	60%	3	30%	3	23%

西部医療圏

＜医師数の推移＞

西部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、心臓血管外科、リハビリテーション科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、脳神経外科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,579	190.8	51	1,800	208.1	50	2,097	244.5	51	518	33%	53.7	28%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	604	73.0	49	629	72.7	48	694	80.9	47	90	15%	7.9	11%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	94	11.4	51	101	11.7	50	111	12.9	49	17	18%	1.6	14%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	64	7.7	49	82	9.5	49	95	11.1	48	31	48%	3.3	43%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	177	21.4	51	163	18.8	51	176	20.5	52	-1	-1%	-0.9	-4%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.1	45	5	0.6	51	3	0.3	46	2	200%	0.2	189%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	15	1.8	51	20	2.3	52	30	3.5	56	15	100%	1.7	93%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	48	5.8	55	37	4.3	47	41	4.8	46	-7	-15%	-1.0	-18%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	124	15.0	54	120	13.9	48	145	16.9	50	21	17%	1.9	13%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	12	1.5	54	13	1.5	50	21	2.4	53	9	75%	1.0	69%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	43	5.2	49	43	5.0	46	61	7.1	50	18	42%	1.9	37%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	80	9.7	52	82	9.5	50	88	10.3	50	8	10%	0.6	6%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	55	6.6	49	58	6.7	49	62	7.2	50	7	13%	0.6	9%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	40	4.8	53	48	5.5	53	54	6.3	53	14	35%	1.5	30%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	90	10.9	52	91	10.5	53	103	12.0	54	13	14%	1.1	10%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	6	0.7	50	24	2.8	61	31	3.6	61	25	417%	2.9	398%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	31	3.7	51	32	3.7	50	43	5.0	50	12	39%	1.3	34%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	48	5.8	55	52	6.0	53	77	9.0	54	29	60%	3.2	55%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				22	2.5	59	26	3.0	52	4	18%	0.5	19%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				114	13.2	52	127	14.8	52	127	11%	1.6	12%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	47	5.7	53	64	7.4	54	109	12.7	59	62	132%	7.0	124%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

西部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は105,534人(-12%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は454人(22%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は339人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は39%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

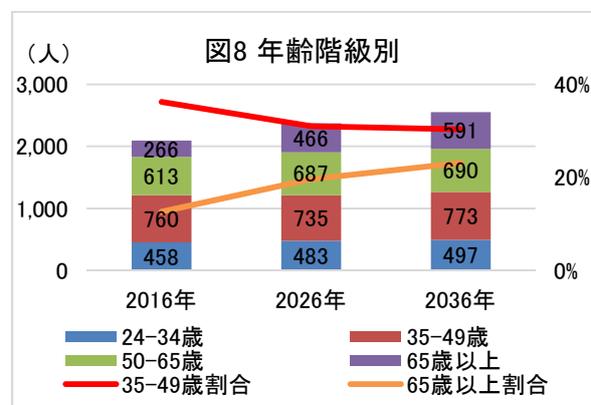
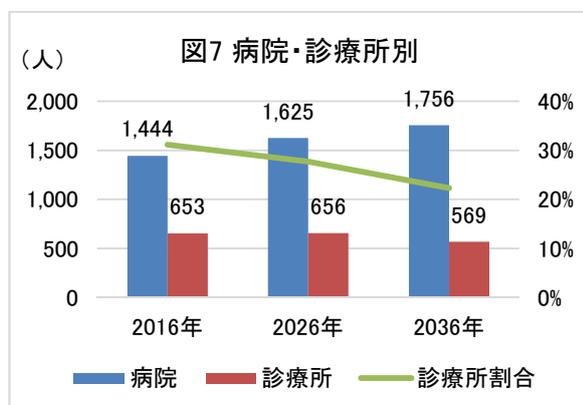
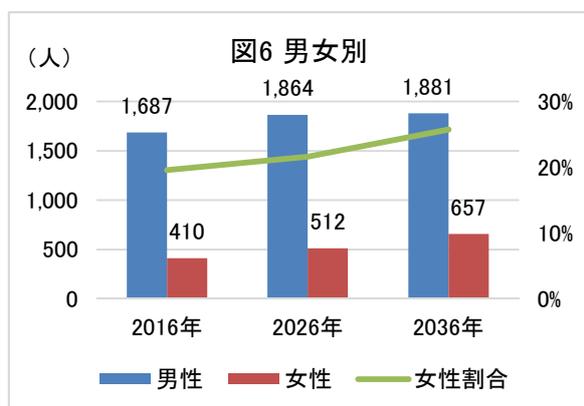
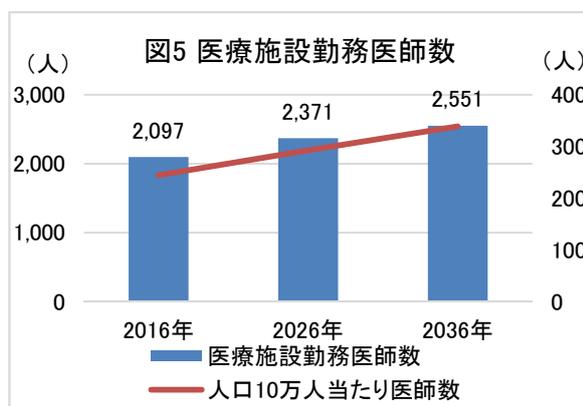
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて194人(11%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に247人(60%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は26%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて312人(22%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に84人(-13%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は22%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は13人(2%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて325人(122%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年13%、2036年23%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



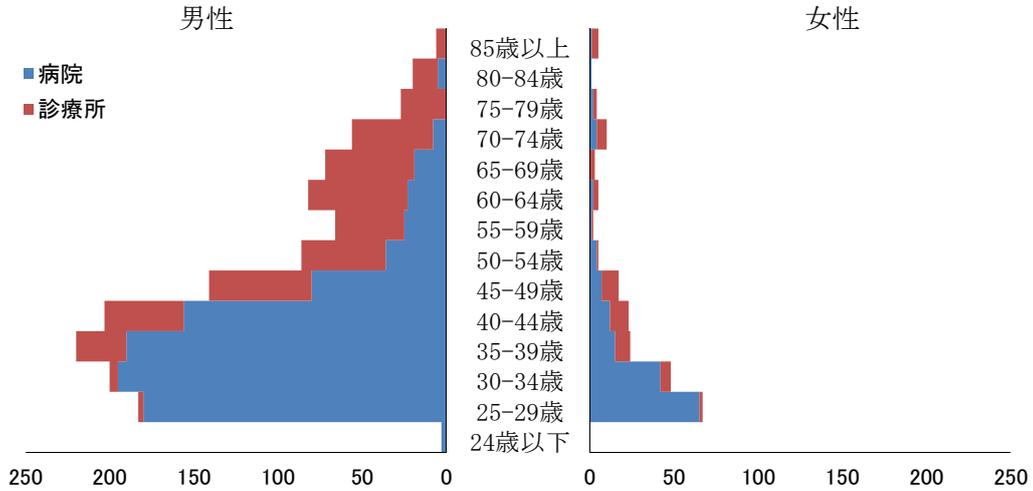
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

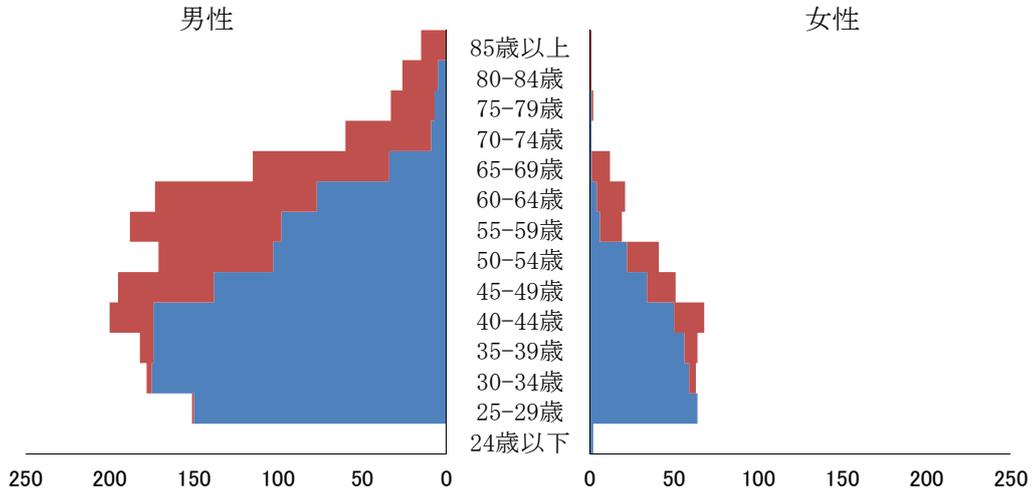
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

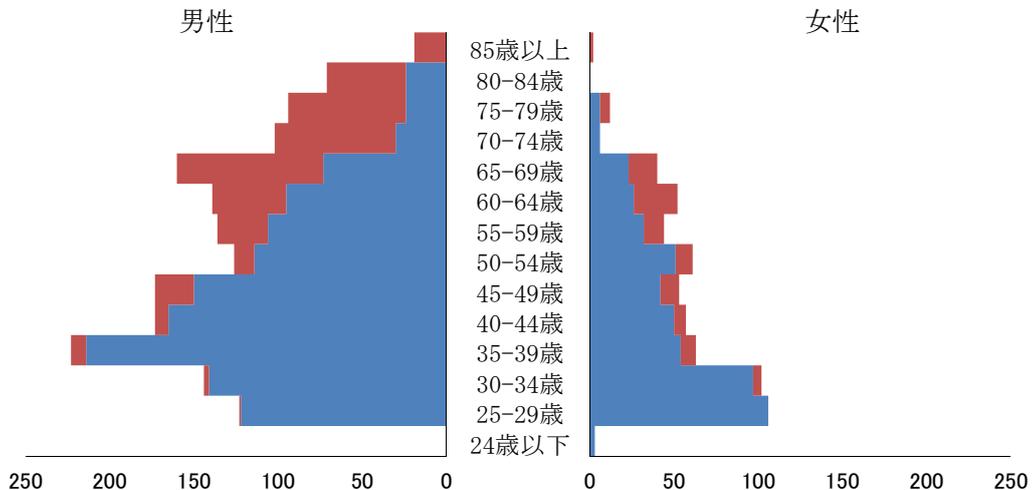
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	857,769	810,227	752,235	-105,534	-12%	-47,542	-6%	-57,992	-7%	
医療施設勤務医師数	2,097	2,371	2,551	454	22%	274	13%	180	8%	
人口10万対	244.5	292.6	339.1	94.7	39%	48.2	20%	46.5	16%	
男性医師数	1,687	1,864	1,881	194	11%	177	10%	17	1%	
人口10万対	196.7	230.1	250.1	53.4	27%	33.4	17%	20.0	9%	
女性医師数	410	512	657	247	60%	102	25%	145	28%	
人口10万対	47.8	63.2	87.3	39.5	83%	15.4	32%	24.1	38%	
病院勤務医師数	1,444	1,625	1,756	312	22%	181	13%	131	8%	
人口10万対	168.3	200.6	233.4	65.1	39%	32.2	19%	32.9	16%	
診療所勤務医師数	653	656	569	-84	-13%	3	0%	-87	-13%	
人口10万対	76.1	81.0	75.6	-0.5	-1%	4.8	6%	-5.3	-7%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	458	483	497	39	9%	25	5%	14	3%
	35-49歳	760	735	773	13	2%	-25	-3%	38	5%
	50-64歳	613	687	690	77	13%	74	12%	3	0%
	65歳以上	266	466	591	325	122%	200	75%	125	27%
	75歳以上(再掲)	78	120	214	136	174%	42	54%	94	78%
男性	24-34歳	329	348	268	-61	-19%	19	6%	-80	-23%
	35-49歳	577	561	607	30	5%	-16	-3%	46	8%
	50-64歳	532	529	502	-30	-6%	-3	-1%	-27	-5%
	65歳以上	249	426	504	255	102%	177	71%	78	18%
	75歳以上(再掲)	74	111	198	124	168%	37	50%	87	78%
女性	24-34歳	129	137	211	82	64%	8	6%	74	54%
	35-49歳	183	179	178	-5	-3%	-4	-2%	-1	-1%
	50-64歳	81	162	198	117	144%	81	100%	36	22%
	65歳以上	17	34	70	53	312%	17	100%	36	106%
	75歳以上(再掲)	4	9	15	11	275%	5	125%	6	67%
病院	24-34歳	450	475	488	38	8%	25	6%	13	3%
	35-49歳	626	629	662	36	6%	3	0%	33	5%
	50-64歳	310	398	425	115	37%	88	28%	27	7%
	65歳以上	58	123	181	123	212%	65	112%	58	47%
	75歳以上(再掲)	13	22	54	41	315%	9	69%	32	145%
診療所	24-34歳	8	8	9	1	13%	0	0%	1	13%
	35-49歳	134	68	70	-64	-48%	-66	-49%	2	3%
	50-64歳	303	255	142	-161	-53%	-48	-16%	-113	-44%
	65歳以上	208	325	348	140	67%	117	56%	23	7%
	75歳以上(再掲)	65	101	151	86	132%	36	55%	50	50%
	85歳以上(再掲)	16	14	21	5	31%	-2	-13%	7	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)